



特集

循環型社会の 形成を目指して

【写真】市民スポーツ・健康フェスティバル『駅伝競走大会』（10月1日(日)・岡志別の森運動公園）

もくじ

●登別市功労者表彰・登別市表彰……………	2	●循環型社会の形成を目指して……………	4
●観光地のほりべつに未来への提言……………	8	●一人ひとりが幸せな社会のために……………	12
●東奔西走……………	14	●情報あらかると……………	17
●福祉の窓・仲間たち……………	16	●となりまちホットライン……………	38
●議会だより「でいすかす」……………	34		

平成18年度

登別市 登別市 登別市 功勞者表彰

登別市 功勞者表彰



あぜ こし ぎ よ はる
畔越喜代治さん(66歳)
美園町 4丁目20番地 6

永年にわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の発展と振興に尽力されました。



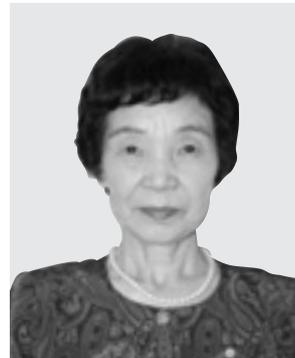
い な あ き お
伊奈 昭夫さん(73歳)
中央町 1丁目 3番地 5

永年にわたり、鳥獣保護員・自然保護監視員として自然環境の保護に尽力されるとともに、登別市共同募金会長として社会福祉の発展と振興に寄与されました。



い な が き ひ ろ こ
稲垣 弘子さん(64歳)
美園町 3丁目10番地19

永年にわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の発展と振興に尽力されました。



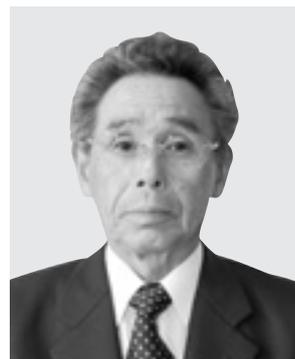
き た や ま え い こ
北山 英子さん(72歳)
登別本町 2丁目17番地 3

永年にわたり、登別保護区の保護員として社会福祉の発展と振興に尽力されました。



つ く だ ひ ろ あ き
築田 浩明さん(78歳)
青葉町34番地 9

永年にわたり、予防接種医として地域医療の発展と振興に尽力されました。



ふ か さ か あ つ し
深坂 敦さん(66歳)
富士町 6丁目10番地 3

永年にわたり、登別市消防団副団長などとして郷土防災の発展と振興に尽力されました。



や ま し た か つ と し
山下 勝利さん(74歳)
富浦町150番地

永年にわたり、登別市農業委員会委員として農業行政の発展と振興に尽力されました。

登別市功勞者表彰・登別市表彰は、永年にわたり登別市の行政や社会福祉などに貢献された方、市民の模範となる行いをされた方の功績をたたえるものです。
このたびの受賞者は、市功勞者表彰7人、市表彰22人3団体(自
治貢献表彰9人、社会貢献表彰4人、教育文化貢献表彰7人、篤志
貢献表彰1団体、善行表彰2人2団体)で、11月3日(金)の文化の日
に市民会館で表彰式が行われます。

登別市表彰

自治貢献表彰

池 嶋 泰 彦さん (76歳)
 鷺別町5丁目3番地11
 時 田 堅さん (77歳)
 新生町2丁目13番地29
 多年にわたり、町内会長などとして
 地方自治の発展と振興に貢献されまし
 た。

伊 藤 彰さん (77歳)
 栄町1丁目14番地15
 大和田 登さん (72歳)
 鷺別町3丁目31番地10
 木 村 勝次郎さん (78歳)
 美園町5丁目4番地9
 寺 島 三津征さん (61歳)
 幌別町3丁目5番地2
 藤 田 虎 夫さん (84歳)
 鷺別町1丁目14番地4
 藤 原 正 照さん (79歳)
 登別東町4丁目30番地9
 多年にわたり、町内会役員として地
 方自治の発展と振興に貢献されました。

小 澤 隆 信さん (60歳)
 登別東町4丁目29番地1
 多年にわたり、統計調査員として統
 計調査の発展と振興に貢献されました。

社会貢献表彰

堀 尾 昌 司さん (51歳)
 富士町6丁目21番地1
 多年にわたり、予防接種医として地
 域医療の発展と振興に貢献されました。

齊 藤 昭さん (72歳)
 幸町6丁目1番地4
 曾 根 信 英さん (67歳)
 栄町4丁目3番地10
 高 橋 和 宣さん (63歳)
 桜木町2丁目26番地27
 多年にわたり、登別市交通安全指導
 員として交通安全思想の啓発ならびに
 交通事故防止に貢献されました。



教育文化貢献表彰

小 林 勉さん (64歳)
 登別東町5丁目22番地24
 多年にわたり、文化団体役員として
 芸術文化の発展と振興に貢献されまし
 た。

伊 藤 昭 夫さん (61歳)
 若山町2丁目15番地4
 伊 藤 正 三さん (56歳)
 柏木町4丁目24番地39
 小 野 勉さん (63歳)
 緑町2丁目15番地3
 谷 本 文 由さん (49歳)
 若草町4丁目26番地2
 永 井 健 則さん (58歳)
 中央町7丁目10番地4
 多年にわたり、体育団体役員として
 体育の発展と振興に貢献されました。

篤志貢献表彰

野口観光株式会社
 登別温泉町203番地1
 多額の金員を寄付され、観光振興に
 寄与されました。

善行表彰

浅 野 清さん (70歳)
 若山町2丁目3番地5
 ボランティア活動として、読書サー
 クルの指導や絵本の読み聞かせなどに
 尽力されました。

浅 利 エイ子さん (84歳)
 幌別町8丁目13番地
 ボランティア活動として、地域の環
 境美化運動に尽力されました。

在宅福祉ボランティア とわの会
 美園町3丁目19番地1
 介護ボランティアとして、高齢者お
 よび重度障がい者の入浴介助などに尽
 力されました。

登別朗読ボランティアの会
 若山町2丁目43番地74
 朗読ボランティアとして、視覚障が
 い者などへの朗読支援などに尽力され
 ました。

登別市功労者表彰・登別市表
 彰についてのお問い合わせは

総務グループ

☎(85) 1130
 FAX(85) 1108
 Eメール: somu@city.no
 boribetsu.hokkaido.jp

循環型社会の形成を目指して



わたしたちの生活に直接かわりのあるごみは、いま世界で自然環境を守るため、いろいろな取り組みが行われています。自然環境を守るためには、法的な規制にとどまらず、これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄という社会経済構造やわたしたちの生活様式を見直していく必要があります。今月号では、人と自然が共生できる環境を保全する『循環型社会の形成』の取り組みについてお知らせします。

▲リサイクルされるアルミ缶

わが国は、戦後、より豊かな生活を求めて経済発展を続け、高度経済成長期以降、テレビや冷蔵庫、洗濯機に代表される家庭の電化が進みました。これらは大量生産、大量消費というプロセスによって、次々と現れる新商品や新製品などにより、既存商品の買い替えを促進させました。また、人口が集中した都市部では、スーパーマーケットの出現で商品単価が安いことや冷蔵庫の普及で、まとめ買いをするようになり、買いすぎる無駄が生じ、ごみの排出量が増大しました。

このため、大量の廃棄物が排出され、その処理は単なる焼却や埋め立てなどといった方法により行われていました。

この結果、国土の狭いわが国では、埋め立て地の確保、大気汚染や水質汚染、土壌汚染などの環境汚染、廃棄物の不法投棄などの不適正な処理を原因とした問題が起っています。

これらの問題の解決に当たって、この10数年、廃棄物を単に処分すべき対象としてではなく、貴重な『資源』としてとらえ、リサイクル（再利用）をはじめ、リデュース（廃棄物の発生抑制）、リユース（再利用）の3Rの取り組みを充実させ、廃棄物などの『循環資源』が適正に利用・処分される『循環型社会』の構築に向けた取り組みが、世界で行われています。

循環型社会への取り組み

ごみには産業活動によって排出される『産業廃棄物』と一般家庭などから排出される『一般廃棄物』があります。

循環型社会を形成するために、これらの廃棄物に対して、次のような取り組みが行われています。

◎産業廃棄物の取り組み

産業廃棄物が適正に処理されるよう、排出事業者の責任を強化していきます。

◎一般廃棄物の取り組み

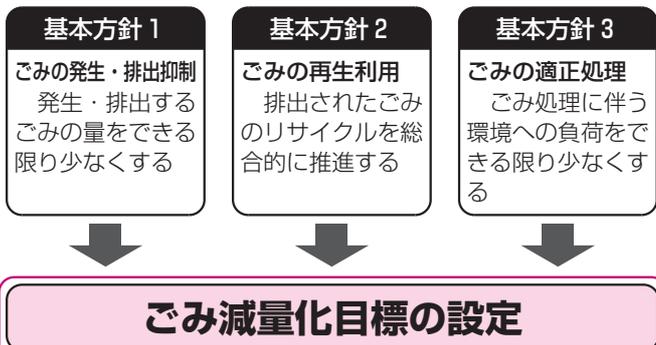
市民の皆さんの協力のもと、3Rの推進やリサイクル製品認定制度、技術開発への支援、マイバツクの普及などに取り組みとともに、発がん性など身体に影響を及ぼすダイオキシン対策に配慮した、ごみ焼却施設の建設などに取り組んでいます。

◎リサイクルの取り組み

生産者に対して、捨てられにくい、またはリユースやリサイクルしやすい製品の開発・生産に、一定の責任を与えるという取り組みが行われています。



登別市一般廃棄物処理基本計画の基本目標
～循環型社会の構築～



年 度	家庭系ごみ	事業系ごみ	合 計	家庭系ごみの市民1人1日当たりの排出量
平成15年度 (実績)	11,917トﾝ	9,407トﾝ	21,324トﾝ	599グラム
平成17年度 (実績)	11,583トﾝ	9,532トﾝ	21,115トﾝ	588グラム
平成22年度 (中間目標)	10,608トﾝ	8,696トﾝ	19,304トﾝ	556グラム
平成27年度 (減量目標)	10,315トﾝ	8,696トﾝ	19,011トﾝ	556グラム

市は、平成15年に『登別市一般廃棄物処理基本計画』と『登別市ごみ減量化行動指針』の見直しを行い、『使い捨て社会』から、ごみの減量やリサイクルを推進する『循環型社会』の実現を目指しています。

『登別市一般廃棄物処理基本計画』は、循環型社会の実現を目指し、ごみの発生・排出抑制、循環的な有効利用、適正な処理に関し、市民・事業者・行政の役割分担と責務のもと、自主的かつ積極的な行動を推進することを基本とし、『登別市ごみ減量化行動指針』と一体的な取り組みを行うこととしました。

市の取り組み



▲クリンクルセンターに搬入された燃やせないごみ

三者一体の取り組み
～市民・事業者・行政の役割と責務～

	市 民	事 業 者	行 政
1) 発生の抑制	生活を見直し、ごみになるものは『買わない・持ち込まない・作らない』ことがごみ減量の第一歩。計画的に必要なものを必要な量だけ買うようにしましょう。	消費者が、リサイクル可能な製品の生産や販売の仕組みを整えるとともに、使用済み製品の回収や修理サービスの充実を推進しましょう。	ごみの減量や資源化のための啓発事業を行います。再生品やグリーン購入法に基づく環境物品の使用に努めます。
2) ごみの分別排出	資源ごみの分別を徹底し、資源物としての排出に協力しましょう。町内会などが行う新聞や雑誌、空き瓶などの集団資源回収に協力しましょう。	ごみの4分別（燃やせるごみ・燃やせないごみ・資源ごみ・有害ごみ）を徹底しましょう。新聞や雑誌、空き瓶などは、地域の集団資源回収に協力しましょう。	資源ごみの分別収集や収集運搬体制を確立します。
3) リサイクル	フリーマーケットや不用品ダイヤル市を活用し、資源の有効利用を図りましょう。	事業所内でのリサイクルに関する取り組みを推進しましょう。	リサイクルのための啓発事業を行います。

循環型社会の形成に向けた 具体的な取り組み

市民の取り組みメニュー

買い物するときのポイント

- 買い物袋（マイバック）を利用しましょう。
- 使い捨て商品を買わないようにしましょう。
- 食品トレイなどの店頭回収に取り組んでいるお店を利用しましょう。
- 必要なものを必要な量だけ買うようにしましょう。
- 簡易包装、簡易梱包に協力しましょう。
- リサイクルショップやフリーマーケット、不用品ダイヤル市を利用しましょう。
- 再生製品を利用するようにしましょう。
- 詰め替え商品を選ぶようにしましょう。
- レンタル商品を利用するようにしましょう。



暮らしの中のポイント

- 歯みがき粉などの日用品は最後まで使い切りましょう。
- 冷蔵庫の中を整理して食材を無駄なく使いましょう。
- ものを大切に使いましょう。
- 壊れてもすぐに捨てないで、直して使うようにしましょう。
- コンポストを利用するようにしましょう。
- 町内会などで行っている集団資源回収に協力しましょう。



事業者の取り組みメニュー

生産するときのポイント

- ごみになりにくい製品づくりを心掛けましょう。
- 部品や資材は、環境に配慮したものを選びましょう。
- 廃棄製品を自主回収しやすい体制をつくりましょう。
- 梱包材や容器を少なくしましょう。

オフィスでのポイント

- ごみ箱をなるべく少なくし、ごみを出さないようにしましょう。
- 不用紙の再利用や両面コピーなどで紙の使用量を減らしましょう。
- IT機器によりペーパーレス化を推進しましょう。
- グリーン購入法の商品の購入に努めましょう。
- 自動車や自転車などは共有して利用するようにしましょう。

販売するときのポイント

- 食べ残しや賞味期限切れ食品が発生しないように、ニーズに合わせたメニューや品目などの工夫に努めましょう。
- 紙パックや食品トレイ、電池などの自主回収に取り組みましょう。
- 贈答品などの簡易包装に努めましょう。
- 使い捨て容器をやめましょう。
- 食材の無駄をなくすため量り売りに取り組みましょう。
- 詰め替え商品など、環境に負荷の少ない商品を販売しましょう。
- 修理サービスの充実に努めましょう。



そのほかの取り組みメニュー

資源回収団体奨励金支給制度

町内会などで、回収した資源を回収業者に引き渡し、その重量により市から奨励金を支給する制度です。

奨励金の対象となる資源は、新聞や雑誌、ダンボール、瓶類（一升瓶、ビール瓶など）、布類、金属類です。

なお、奨励金の支給を受けるためには、資源回収団体が営利を目的としないことや事前に市への登録が必要です。



生ごみ堆肥化容器購入費補助制度

家庭から出る生ごみの減量と有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器の購入者に対し、購入費の一部を登別市衛生団体連合会が補助します。

なお、補助額は1世帯1個で1,000円です。

不用品ダイヤル市

家庭で不用となったものや譲り受けたいものを登別消費者協会に登録しておくことで、当事者同士による品物の受け渡しができる制度です。

広報のほりべつに掲載されています。

ごみの分別に便利な識別マーク

	アルミ缶の表示
	スチール缶の表示
	ペットボトルの表示
	紙製容器包装の表示
	プラスチック製容器包装の表示

自然にやさしい環境ラベル

	エコマーク 環境保護に役立つと認められた製品のマークです
	グリーンマーク 古紙などを再生利用した製品のマークです
	アールマーク 再生紙の古紙配合率が分かるようにした製品のマークです
	パックマーク 牛乳パックを再生利用した製品のマークです

平成17年度の市民1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は、588グラムになっています。

平成22年度の間目標年次では、556グラムを目標にしています。

ごみを減量するため、市民1人ひとりの取り組みをお願いします。

◎100グラムのごみの目安

- バナナの皮2枚
- Tシャツ1枚
- レジ袋20枚
- ポケットティッシュ9パックなど



循環型社会の形成に協力しましょう

すべての人びとが自主的・積極的に循環型社会の形成に取り組むことで、人と自然が共生できる豊かな環境の保全が図られます。

また、家庭のごみ処理費用が節約できます。

ごみの減量とリサイクルにご協力をお願いします。

そのほかにもこんなメリットがあります

- ごみを処理する施設では、光熱水費などが少なくなります。
- ごみを焼却した灰などを捨てる最終処分場を長く使用することができます。
- リサイクルすることによりエネルギーが節約できて、二酸化炭素などの発生量が少なくなり、地球温暖化防止にもつながります。
- リサイクルすることにより、限りある森林や石油などの自然資源を大切に使えます。

ごみに関する問い合わせ

環境対策グループ

☎05 2958

Eメール cleancle@city.nobo
ribetsu.hokkaido.jp

小特集 全国の大学生が登別に集結

観光地のぼりべつに未来への提言

～第1回全国大学政策フォーラムin登別～



▲登別温泉地獄谷を散策する大学生



▲フォーラムの様子

第1回全国大学政策フォーラムのスケジュール

9月29日(金)

14時35分	オリエンテーション
15時25分	市内視察
17時20分	講話 『登別市の観光について』
18時30分	交流会

9月30日(土)

終日	日本工学院北海道専門学校を拠点にフィールドワーク
----	--------------------------

10月1日(日) (登別グランドホテル)

8時30分	グループ提言(8グループ)
11時00分	フォーラム 『登別市の観光政策を考える』

豊かな自然や豊富な湯量に恵まれ、北海道を代表する観光都市のぼりべつの抱えている問題は、全国の観光地が抱える課題でもあります。9月29日(金)から10月1日(日)までの3日間、同志社大学や立教大学、京都橘大学、日本福祉大学と地元から日本工学院北海道専門学校が登別市に集い、自治体の観光政策についての提言とフォーラムを行いました。今月号では、その内容についてお知らせします。

全国大学政策フォーラムの開催に当たって

現在、社会は大きな転換期を迎え、少子高齢化や環境に関する問題など解決しなければならぬことがたくさんあります。これらの問題解決のためには、多くの方が知恵を出し合い、より良い政策を創り出していく必要があります。

また、地方においても、その地域特有の問題解決に向けて、自治体では政策形成能力、政策法務能力など政策にかかわる能力の向上が求められています。

全国の大学では、こうした社会の要請に応えるため、政策系大学院や学部などが年々増加する傾向にあります。

しかし、これまで学生たちが、社会という実際の現場を検証した上での政策を、提言する機会ほとんどありませんでした。

そのため、同志社大学をはじめとする全国の大学や登別市議会、登別商工会議所、登別観光協会、登別市などが実行委員会を組織し、登別市を会場に政策の議論を行うこととなりました。

北海道を代表する観光地のぼりべつが、不況の影響や嗜好の多様化により、宿泊客が年々減少する傾向の中、新たな視点によるまちづくりの提言が、学生たちにより行われるこ

ととなりました。

会場産品の料理で 学生たちをおもてなし

婦人センターで開催したオリエンテーションに、64人の学生が元気を顔に揃えました。

今後のスケジュールなどの説明の後、学生たちはバスで1日1万トの湯量を誇る登別温泉へ移動。登別温泉地獄谷を観光ボランティアガイドの案内で散策し、鉄泉池のお湯の湧出に歓声を上げていました。

ふおれすと鉱山では、市観光経済部長が『登別市の観光について』と題して講話。市内観光の問題点や今後の取り組みなどの内容に、学生たちは熱心に聞き入っていました。

交流会は市内のホテルで行われ、北海道を代表するジンギスカンや鮭のチャンチャン焼きなどで学生たちをもてなしました。

2日目は、日本工学院北海道専門学校を拠点に、グループ提言の資料収集のため、雷雨の中、市内などを奔走。市の若手職員が同行し、道案内などの協力をしました。

各グループとも提言をまとめるのに苦労していたようで、中には、朝までかかって発表内容をまとめているグループもありました。

それでは、入賞したグループの提言や5人のパネリストで行われたフォーラムの内容を紹介しましょう。

登別市の観光政策に
グループ提言された
優秀作品の紹介

最優秀賞

同志社大学政策学部

真山ゼミ



登別といえば『温泉』のイメージだけ、ほかに何があるのだろうかという印象でこの登別を訪れました。実際に来てみたら、温泉街と駅や市役所周辺は離れていて、温泉はあくまでも観光資源の一つ。温泉イコールまちではありませんでした。観光に携わっている方以外の市民意識の中に、温泉はどういうふう

ているのか疑問を感じました。

市の計画の中にも、『来訪者と交流をはぐくむまちづくり』『市民と観光客の両方が満足できるまちづくり』が強調されていますが、実際にはできていないように思われます。

観光政策の実施に当たって、超えなければならぬものが、温泉・観光という市民の意識形成です。市民全員が、登別『温泉』すごいんだよ。それだけじゃないんだよ。そういう意識が大切なんだと思います。

登別市は、室蘭市にある大企業のベッドタウンの機能もあります。そんな中で、市民と観光をどうやって結び付けていくのか。どうやって組織を活性化させていくのか。これからのまちづくりに重要な課題になってきます。

そこで、協働観光推進プロジェクト『おもてなしとシステムの構築』を提言します。

これは市民活動団体に『観光によるまちづくり』をコンセプトに活動していただくものです。そのためには、まず行政がそういう活動を行っている方やそういう発想を持っている方を、講師に招いて講演会を開催し、意識啓発を図る必要があると思います。

登別を一番理解していないのは登別市民かもしれない。初めは行政が中心となって活動する組織をつくり、活動が落ち着いた時点で、NPOや

民間が中心になって活動することで、地域の自立や発展につながると思います。

これを実行し、観光とまちを一体化させることで、新たな顧客や長期滞在者が増えると思込られます。

市内で活動している団体はたくさんあると思いますが、いずれは廃れることが予想されるので、今のうちに少し手を添えて、登別は『温泉』だけじゃなく、まち全体が温かいといった活動が必要だと思います。

優秀賞

立教大学コミュニティ

福祉学部 原田ゼミ

(3年専門演習)



集客を旅行会社に頼っているため、地域での経営力不足、自発的な取り組みが弱いとの問題点を挙げました。その解決に当たっては、自分たちコミュニティ福祉学部の観点から『観光福祉』というプランを提言しました。



人や観光名所などの『資源』『実行可能なプラン』『きっかけ』の3点を視点に、誰もが気軽に旅行できるサービスの提供を基本に、障がいのある方に対する『サポート』や『入浴サポートヘルプ』、登別の自然の魅力を知っていただく『散策ガイド』や『自然体験』、『交通機関の充実』を、今あるプランにオプションで付け加えることで、選択の自由と価格が安く抑えられると考えました。

また、活動される方に支払う報酬は、地域通貨で支払うことも提案しました。運営スタッフの確保にはワーキングツアアを導入し、お金がなくても登別にきて活動してもらい、登別の温泉に入っていたら、魅力を知っていただく仕組みです。

そのためには、それぞれの活動支援団体の調整役であるマネジャーの養成が必要になります。

地域全体が登別市について考え、行動することが地域福祉の実現に結びつくと思います。

優秀賞

立教大学コミュニティ 福祉学部 原田ゼミ

(4年卒業研究演習)



登別市の観光の集客は、旅行会社任せの営業を行い、団体客重視の傾向が見られます。その結果、観光客の減少とホテルや商店街の赤字経営につながったと問題点を挙げました。その解決策として、地域主体の『温泉大学プロジェクト』を提言しました。

この温泉大学プロジェクトは、『講座』『オーダーメイド旅行』『スペシャルリスト養成』の3本柱で、『講座』は温泉まめ知識や効果的な入浴方法など、温泉に関する検定を行い、その結果により割引券や招待券を配布し、集客を狙うというシステムです。

また、『オーダーメイド旅行』は、観光客の希望に合わせた旅行プランを作成するもので、夫婦水入らずの時間を過ごす『夫婦いきいきプラン』や温泉の効能を生かした『療養プラ

ン』、自分のペットと旅行ができる『愛犬プラン』などが考えられました。

『スペシャルリスト養成』は、温泉大学を運営していくスタッフを養成する『温泉大学プロジェクト運営スタッフコース』と、温泉を活用した地域活性化を企画・運営する『地域貢献型事業起業コース』からなるものです。

これらのプロジェクトを運営するために、『温泉サポーター』を育成する必要があります。

温泉サポーターは、インターネットを通じて全国から募集し、活動に対する報酬は地域通貨で支払うというものです。登別で働くことで長期滞在が可能になり、地域通貨が流通することで、市内経済が潤うというものです。温泉サポーターは、すべての方が温泉を楽しく利用できるようにするための、旅行コーディネーターの内容も盛り込まれています。

講座の修了者を講師に、観光客用の講座を受け持ち、オーダーメイド旅行のプラン作成を行います。スペシャルリストの方は、市と連携した上で空き店舗を買い上げ、そこを拠点に活動することになります。

温泉大学をきっかけに、市民のネットワークが広がり、地域活動の活性化から登別市が発展し、全国に温泉ブランドを発信していくことになります。

登別市長賞

日本工学院北海道専門学校



地元の日本工学院北海道専門学校は、『心からのおもてなし』『日本ハムファイターズのような取り組み』『人は人の集まるところに行くと』の3つをコンセプトに、『イベント』『建築』『行政』のそれぞれの分野から提言を行いました。

イベントでは、地獄まつりは知っているが、見に行く人が少ないことを問題点として挙げました。例えば、別府の温泉まつりでは、まつりの期間中ホテルなどの温泉が無料で入り放題になり、移動についても20分間隔で、バスが500円のフリーパスで走っています。そのようなことを行うことによって、市民が温泉に親しみを持てるようになると思います。

また、まちの中にストーリー性を持たせることや閻魔堂の動く回数を増やすこと、スポットにガイドを配置して説明した方が自分のペースで

回れることを挙げました。

建築からは、温泉街の入口にモータープールの設置と歩行者天国の実施、電線の地中化により開放感が溢れ、空間が演出しやすくなり、足湯やビアガーデンなどを設けて楽しい空間にしたいと提案がありました。

また、看板や建物に統一性が無いことや地獄から極楽に行くなどのストーリー性をまちに持たせ、イルミネーションの照明の中、市民が火をともしたちょうちんを観光客が持ち歩くことで、市民と観光客が一体感を持たせ、ぜひ歩いてみようという空間づくりが必要だと提案しました。

行政では、外国人観光客が増えているものの、国内からの観光客が減っていることに注目し、まちぐるみでの雰囲気づくりを提言しました。観光客や日帰り客への浴衣の貸し出しなどで、歩行者天国を歩いてもらいたい情緒感を出すことや地元から愛されることの必要性も訴えました。

旭山動物園では、格安な値段により多くの市民が訪れ、さらに外からも人が集まっています。登別でも宿泊優待券が配られています。泊優待券が配られていますが、あまり利用されていないように感じます。これは市民ニーズに合っていないと思います。市民であれば日帰りの方が利用しやすいのではと考えました。こうすることで人が人と呼び活気のあるまち、活気のある観光ができると提案しました。

『登別市の観光政策を考える』をテーマに開催されたフォーラムは、グループ提言で入賞したチームの代表者3人と、登別温泉旅館組合組合長や登別観光協会専務理事の5人をパネリストに、同志社大学政策学部教授をコーディネーターに行われしました。

北海道を代表する観光地のぼりべつを訪れる宿泊客は、平成11年度をピークに減少傾向にあり、今後の観光に不安を抱えている状況にあります。

フォーラムでは、この状況に対し、大熊さんが観光地登別温泉の印象を「温泉という資源があってもその周りが埋められていない」、鈴木さんは「登別らしさが伝わってこない」と問題点を提起していました。

グループ提言の中でも、「登別温泉とそれ以外の地域の人たちとの一体感が感じられない」「登別温泉だけが観光地」という発表がありました。この2つの地域の連携が今後の登別市の発展にもつながると考えられました。

登別市が観光地として生き残るためには、「市内で活動している団体などが、『観光』や『温泉』といっ



コーディネーター
同志社大学政策学部
教授
真山達志さん



パネリスト
登別温泉旅館組合
組合長
今井光さん

たキーワードを取り入れた活動を行うことで、観光というものを市民に定着させる必要があります」と大熊さんは提案していました。

また、登別らしさについて今井さんは、「秋田県にある玉川温泉の泉質が健康に非常に良いとされていま



す。最近、登別でも同じ泉質が確認されました。これらの温泉成分がどういうふうにいんだらうということデータをベース化し、情報発信することを考えています」と登別ブランド（＝登別らしさ）につながるとしました。



パネリスト
社団法人登別観光協会
専務理事
奥村修さん



パネリスト
同志社大学政策学部
真山ゼミ3年生
大熊涼介さん

「多種類の泉質を持つ温泉は登別の特徴です。温泉の泉質は生きていくので変わるんですよ」と奥村さんは温泉好きな外国人が増えていく状況の中、これからは登別のPRに努めていくとしました。

また、湯浅さんからは「市民が温泉をあまり利用していないのでは」との問いに、今井さんは「市民無料入浴日の実施や宿泊半額券の配布などで、市民は利用されています」と相反する発言となりました。観光地登別の魅力を自分たちで見つけ出し、市民自らが楽しむことで、その広がりは道内、国内さらには海外へと波及することが予想されます。

そのほか、ハード面では登別温泉街の駐車スペースを確保するためのモータープールの設置や電線の地中化により、空間の演出という意見もありました。

今回のフォーラムでは、登別市の観光の問題点が、あらためて浮き彫りになりました。今後、この問題点



パネリスト
立教大学
コミュニティ福祉学部
原田ゼミ3年生
鈴木杜司さん



パネリスト
日本工学院
北海道専門学校
2年生
湯浅和浩さん

が市民を含めて議論され、登別市の観光がまちづくりにつながることが期待されました。

3日間の全国大学政策フォーラムの開催を終えて、今井さんから観光という字は「光を観ると書きます。光というのは温かみとか、エネルギーとか、元気を出す源です」とのお話をいただきました。

今年、新たな取り組みとして開催した特別イベント『鬼火が誘う地獄の谷』では、市民を含め多くの観光客から好評を得ました。

また、昨年大湯沼川に整備された天然の足湯には、連日のように市民や観光客が訪れ楽しんでいきます。人がにぎわうということは、そこには魅力があるからです。

全国大学政策フォーラムは、来年も登別市での開催が予定されています。

問い合わせ
企画
グループ
☎85 1 1 2 2
Eメールkikaku@city.no
boribetsu.hokkaido.jp

男女共同参画社会を目指して

一人ひとりが

幸せな社会のために



登別市男女共同参画社会シンボルマーク

男女共同参画社会の実現に向けて

男女共同参画社会とは、男女が社会の対等なパートナーとして、自らの意思で社会のあらゆる分野の活動に参画する機会が保障され、共に責任を担う社会です。

憲法に個人の尊重と法の下の平等がうたわれ、男女平等の実現に向けて、法律の整備や制度の改革が行われてきましたが、社会制度や慣行にはジェンダー（社会的性別）による差別が存在しています。

『男は仕事、女は家庭』といった固定的な性別役割分担意識にとらわれず、差別のない社会を築いていくことが大切です。

豊かで活力のあるまちづくりを進めるためには、男女が多様な生き方を認め合い、喜びも責任も分かち合いながら、家庭や地域、働く場、政策決定の場など、あらゆる場で能力を発揮し、活躍できる男女共同参画

社会を実現することが必要です。

今月号では、男女共同参画社会の実現に向けた市の取り組みや市民団体の活動などを紹介します。

市の取り組み

市は、平成8年策定の総合計画に『女性もともに参画する地域社会づくり』を掲げ、平成9年から市民の参画を得ながら、男女共同参画の啓発や計画策定に向けた取り組みを進め、平成14年9月に『登別市男女共同参画基本計画（のぼりべつ・はあもにいプラン21）』を策定しました。

この基本計画は、

1. 男女の人権が尊重される社会の実現
2. 男女があらゆる分野に参画することができる社会の実現
3. 雇用等の分野における男女平等の実現
4. 健康的な生活を生涯にわたって送られる社会の実現

の4つを柱とし、男女平等をもとに心を合わせ、力を合わせ、助け合っ



▲登別市男女共同参画基本計画

また、市は、この基本計画を推進するため、20人（公募5人、各種団体からの推薦15人）による『登別市男女共同参画社会づくり推進会議』を設置しています。



▲登別市男女共同参画社会づくり推進会議

市民団体紹介

のぼりべつ男女平等参画懇話会

平成14年5月に結成された同会は、ジェンダーを解消するために、女性が力をつけ、社会が平和で平等なものになるよう、草の根の活動を行っています。

これまでに、女性を取り巻く現状や課題の解決に向け、女性学セミナーやビデオフォーラム、講演会などを開催しています。

▶問い合わせ 合田さん（☎05671）



三市合同女性国内派遣研修参加者の会『プラタナス』

毎年、登別市・室蘭市・伊達市が女性を対象に行っている『三市合同女性国内派遣研修』に、登別市から参加した有志が、研修で学んだことを地域活動に生かすため、昨年4月に同会を結成しました。

2カ月に1回開催している例会での情報交換、講演会の主催・参加などの活動を行っています。

▶問い合わせ 安達さん（☎057845）





小学4年生向け啓発冊子 『男らしく?女らしく?自分らしく!』

市は、家庭での男女平等の意識づくりに活用してもらうため、市内の小学4年生とその保護者の方を対象にした啓発冊子を登別市男女共同参画社会づくり推進会議の編集委員と協働し、発行しています。

冊子は、ジェンダーについて、イラストを多用して解説。楽しみながら読んでもらえる内容で、各小学校を通して配布しています。

この冊子から『ジェンダーチェック』を抜粋し、掲載しましたので、皆さんもチャレンジしてみてください。

ジェンダーチェック

男の人のすることや女の人のすることは、決まっているのかな?みんなはどう思いますか?
自分の考えをチェックしてみましょう。

1. 先生が「女子(男子)は～」と男女に分けて注意するのを聞くと、なんとなくおかしいと思う。
2. 「やさしい女子」、「たよりがいがある男子」という言い方は、なんとなくおかしいと思う。
3. ランドセルの色は、男子は黒、女子は赤がほとんどだけど、自分の好きな色を選べられるといいと思う。
4. サッカーが好きな女子や、料理の好きな男子がいたって、いいと思う。
5. 運動会の応援団長は、男子であることが多いけど、女子が応援団長になってもいいと思う。
6. 女子がリーダーだったり、成績がよかったりすると「生意気だ」と言うのはおかしいと思う。
7. 「男のくせに、少しぐらいのことで泣くな」というのを聞くと、なぜなのかと思う。
8. 男子だって、そうじや洗濯などの家事ができなくちゃいけないと思う。
9. 教室に花を飾る係は、女子がいいと思う。
10. 給食のお手伝いは、女子の仕事だと思う。

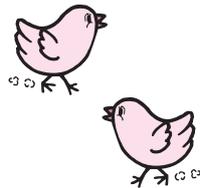
はいの数が 6点から10点のあなた

「女の子だから」、「男の子だから」にこだわっていないようですね。これからも、自分や友だちのしたいことを大切にしていこう。



はいの数が 4点から5点のあなた

「女の子らしさ」、「男の子らしさ」がちょっとり気になるあなた。「自分は、こう思う」、「自分はこうしたい」という気持ちを大切にしていこう。



はいの数が 0点から3点のあなた

「女の子らしさ」、「男の子らしさ」にこだわっているあなた。こだわりをやめて、まわりをもう一度みてみよう。意外なところで、友だちができるよ。



男女共同参画フォーラム2006 まちづくりと 男女共同参画社会

～わたくし発!!「気づき・感じて・考える」～

男女共同参画社会の実現は、暮らしや認識の構造改革につながることを求められています。

社会が大きく変革しようとしている中、新しい地域社会をつくるために、わたしたちは、これから何を考え、どう実践していくべきなのか、糸口を探る語り合いをします。

▶日時 11月19日(日) 13時～15時30分(開場12時30分)

▶場所 市民会館中ホール

▶内容 市民団体代表者とのパネルディスカッション

▶提言者 谷田美津子さん

▶パネリスト

●星川光子さん(NPO法人いぶりたすけ愛)

●伴野美枝さん(自然愛好グループヨシキリの会)

●松原條一さん(NPO法人モモンガくらぶ)

▶コーディネーター 花井泰子さん

▶参加料 300円(資料代)

※参加や託児を希望される方は、事前に申し込みが必要です。

▶申し込み 託児は11月10日(金)まで、参加は11月15日(水)までに電話で市民サービスグループ



男女共同参画についてのお問い合わせは

市民サービスグループ (☎05 1 8 5 5 ・ 05 7 6 7 4 ・ Eメール: shiminka@city.noboribetsu.hokkaido.jp)

まちづくりに提言を

～第1回登別市市民自治推進委員会～

10月12日(木)、市民会館で『第1回登別市市民自治推進委員会』が開かれました。

この委員会は、市民と行政による協働のまちづくりを進めるため、市民・行政・議会のそれぞれの役割や責任、まちづくりへの市民参画の仕組みや権利などを明記した『登別市まちづくり基本条例』（昨年12月制定）の中にその設置がうたわれているものです。

委員会では、まちの問題点や課題について勉強会を行ったり、意見を出し合ったりして、市に提言を行うほか、市がまちづくりについての重要な施策・計画を策定するときに、企画・立案の段階などで、意見やアイデアを市に提言することになっています。

この日は、公募の市民70人のうち43人が出席。上野市長は、「さまざまな立場の方が参加しているので、違う角度からの意見や、意見が一つにまとまらないこともあるかと思いますが、できるだけ多くの市民の意見を取り入れて、市政を行っていきたい」とあいさつしました。

その後、委員の中から6人が運営委員に選ばれ、今後の市民自治推進委員会の運営方法などについて、検討を進めることになりました。

次回の市民自治推進委員会は、11月21日(火)に開かれる予定です。



音楽や料理を通して国際交流

～マチルデさんのデンマーク教室～

9月26日(火)・27日(水)・10月2日(月)の3日間、市民会館などで『マチルデさんのデンマーク教室』（登別デンマーク協会主催）が開かれ、延べ約100人がデンマークの暮らしや文化などを学びました。

この教室は、デンマークとの交流を目的に活動している同協会が、毎年、デンマークから研修生を受け入れ、市民との交流を行っているものです。

今年の研修生は、マチルデ・ラスムッセンさん（20歳・リング市在住）。9月9日(土)に来登し、ピアノやクラリネットでデンマークの国歌や民謡を演奏したり、デンマーク料理を一緒に作ったりするなど楽しく交流しました。

マチルデさんは、この教室のほか、市内の小・中学校などを訪問し、デンマークの文化を紹介。10月8日(日)に帰国の途につきました。



▲参加者とデンマーク料理を作るマチルデさん（左）

科学って面白い

～米村でんじろうのおもしろサイエンスショー～

10月9日(月)、市民会館で、テレビなどでおなじみの米村でんじろうさんによる『おもしろサイエンスショー』（文化・スポーツ振興財団主催）が開かれ、親子連れなど700人が科学の面白さや不思議を実感していました。

最初に、紙のブーメランを使った実験では、「ブーメランはプロペラです。右にねじれば右回り、左にねじれば左回り、高く飛ばすには羽根を上曲げればいいんですよ」と説明し、実際にブーメランを飛ばし実証していました。

続いて、空き箱に円形の穴を空けた空気砲の実験では、「空気砲の玉は輪の形をしています、輪の部分はうずまき状になっているんですよ」と説明。うずまきを見やすく行った実験では、会場から大きな歓声が上がっていました。



▲空気砲の実験

心地良い汗を流した秋の一日

～市民スポーツ・健康フェスティバル～

10月1日(日)、岡志別の森運動公園と市民プールで『市民スポーツ・健康フェスティバル』（市、文化・スポーツ振興財団主催）が開かれました。

この催しは、スポーツなどを通して市民の健康増進を図ることを目的に、毎年この時期に開催されているもので、市民約2,000人が参加しました。

晴れ渡った秋空の下、岡志別の森運動公園では、『市民パークゴルフ大会』『市民ソフトボール大会』『駅伝競走大会』『キンボール大会』が行われ、参加者は家族や友人の声援を受けながら、心地良い汗を流していました。

市民プールでは、『健康コーナー』『水中運動教室』などが行われ、子どもたちを対象にした『水中フラッグ競争』や、水中の景品がもらえる『宝物探し競争』では、子どもたちが楽しそうに水しぶきを上げていました。

また、日本工学院北海道専門学校しん灸科の学生によるリラクゼーションルーム『癒し処』も設けられ、丁寧なマッサージが来場者から好評を得ていました。



▲キンボール大会



▲リラクゼーションルーム『癒し処』

子どもの気持ちを理解して

～家庭教育・

子育て支援講演会（ワークショップ）～

10月11日(水)、市民会館で『家庭教育・子育て支援講演会（ワークショップ）』（市主催）が開かれ、家庭教育学級の会員や子育てに関心のある方など55人が参加しました。

講演会は、『心を育てる聴き方・話し方』をテーマに、青柳宏さん（文化女子大学室蘭短期大学教授）が講師となり進められました。

青柳さんは、「子どもの気持ちを理解してあげることが大切です。忙しいからと、子どもの話を片手間に聴くと、子どもはいい気持ちはせず、ちゃんと聴いてくれないと思います。日常の中で、じっくり話を聴いてあげる態度をとれば、子どもの反応は変わってきます。ぜひ、実践してください」と述べていました。



裁判員制度への理解を深めました

～第3回裁判所市民講座～

10月11日(水)、札幌地方裁判所室蘭支部で、第3回裁判所市民講座『え！私が裁判員～聞かせてくださいあなたの正義～』（同支部主催）が開かれました。

この講座は、平成21年5月までに始まることになっている裁判員制度（裁判に対する信頼の向上を目的に、国民の中から選ばれた裁判員が、殺人などの重大な刑事事件を裁判官と一緒に裁判する制度）への理解を深めてもらおうと開催されたもので、登別市をはじめ、胆振管内各地から37人が参加しました。

この日は、カラオケスナックで発生した殺人未遂事件の模擬裁判が開かれ、事件の内容の説明や、検察官による論告と弁護人による弁論の後、裁判官と参加者で証言の信用性などについて話し合う評議の体験が行われました。

参加者は、「アメリカやイギリスで陪審制が行われており、とても勉強になりいいことだと思います」と述べ、3年以内に始まる制度に向けて意欲的に取り組んでいました。



福祉（高齢・介護・障がい）の窓

要介護認定の区分が変まりました

今年6月から、要介護認定の区分が6段階から7段階に変わり、新たな区分は、6月以降、要介護認定を申請する方と更新する方に適用されています。

新しい区分の『要支援1』『要支援2』に認定された方は、サービスの利用で、心身の状態が維持・改善する可能性

が高いため、身体機能の改善や重症化の予防を目的とした『新予防給付』の対象になります。

『新予防給付』の介護予防サービスの利用するためには、地域包括支援センターと契約し、介護予防プランを作成してもらい、必要があります。なお、『新予防給付』では、施設サービス

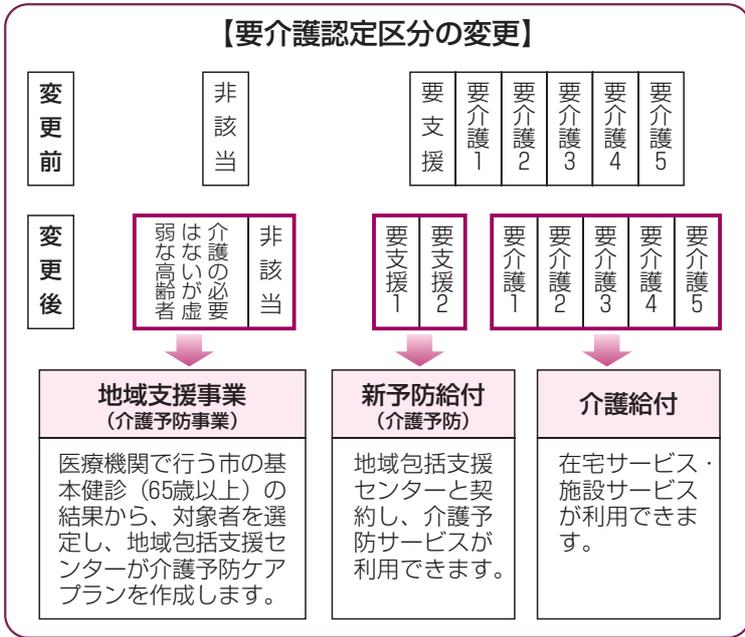
利用することができません。

また、『要介護1〜5』に認定された方は、これまでと同じく『介護給付』の対象になります。

『介護給付』の介護サービス（在宅サービス）を利用するためには、居宅介護支援事業者と契約し、介護プランを作成してもらう必要があります。

▼問い合わせ 高齢・介護・障害福祉グループ ☎5720

【要介護認定区分の変更】



人が輝き まちがときめく

仲間たち

Group

登別縄文どきどきクラブ



専門的・学術的なことより、縄文人や縄文文化などを楽しく知ってほしい

『登別縄文どきどきクラブ』は、自然との共生やその恵みへの感謝物を大切にする心など、縄文時代の自然観や世界観を楽しく学ぼうと、昨年11月に結成されました。現在、会員は50・60歳代を中心に14人。月1回、市民会館に集まり活動しています。

「専門的・学術的なことよりも、縄文人や縄文文化などを楽しく知ってもらえれば」と思い、活動しています。これまでに、設立記念講演会や遺跡見学会を行ったほか、7月に開かれた『2006わくわく広場のほりべつ』に、まが玉作りや粘土を使った土器作りなどの体験ブースを設けたところ、好評で多くの方が来場してくれました」と話すのは、代表の大谷賢一さん。クラブでは、来年オープン予定の（仮称）文化交流施設に、市内



▲『2006わくわく広場のほりべつ』に設けられた体験ブース

を呼び掛けていました。2月に入会した古川良逸さんは、「子どものころ、縄文土器に触れる機会があり、興味を持つようになり、物を大切に、人びとが助け合いながら、自然と共生するとうい縄文人の生き方に共感しています。これからは、遺跡や土器の見学などを通して、見聞を広げていきたいですね」と笑顔で話してくれました。入会を希望される方は、大谷さん ☎33360 までどうぞ。

くろーずあっぷ

- 18 クリンクルセンターからのお知らせ
- 20 子育て支援センターからのお知らせ
- 21 岡志別の森運動公園パークゴルフ場とテニスコートの利用期間を延長します
- 23 しんた21からのお知らせ
- 24 『登別市民宿泊割引優待券』を配布します
- 25 あなたも『卒煙』しませんか
- 28 文化・スポーツ振興財団からのお知らせ
- 29 ふおれすと鉱山からのお知らせ
- 30 毎週木曜日は19時まで住民票などの手続きができます
- 31 社会教育グループからのお知らせ
- 32 11月1日(水)から電子申請サービスを開始しました

毎月のお知らせ

- 19 12月の粗大ごみ収集
- 19 11月の市立図書館行事
- 22 12月の集団予防接種
- 22 健康相談・診査
- 23 11月の歯科救急医療
- 27 無料法律相談・くらしの無料相談
- 33 今月の新着図書
- 33 不用品ダイヤル市

11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4					1	2	3
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23
26	27	28	29	30			24 ^日	25	26	27	28	29	30

広報のぼりべつ新年号 『明日の登別、明日の私』 の原稿を募集します

『広報のぼりべつ』では、市民の皆さんのまちづくりへの思いをはじめ、思い描く登別の将来像、身のまわりや世相、家族・友達、感動したこと、新年を迎える自分への激励など、日ごろ感じていることを募集します。

まちづくりへの思いや決意、新年を迎える抱負、2006年を振り返ってうれしかったこと、忘れてしまいたいことなど、どんなことでも結構です。

寄せられた原稿は、平成19年1月号の『明日の登別、明日の私』で紹介いたします。

紙面を使って、ふるさと登別の将来像を思い描いたり、来年の私へ語りかけてみませんか。

◎投稿要領

▼対象 市内に居住する小学生以上の方

▼原稿 400字程度(用紙は、原稿用紙に限らず何でも結構です。手書き、ワープロを問いません)

▼投稿方法 封書、はがき、ファクス、Eメールに住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ご投稿ください

※紙面では原則としてお名前を掲載しますが、匿名を希望する方は『匿名希望』と明記してください。

▼締め切り 11月30日(木)(必着)

▼投稿先 情報推進G (☎5720)

『申し込み』中の『G』は『グループ』の略です

86 ☎1108 〒0510
012 中央町6丁目11 Eメ
ール: pr@city.noboribetsu.hok
kaido.jp)

家屋表示板を配布します



家屋を新築された方や改築などで表示板を紛失・破損された方に、家屋などの所在を分かりやすくする家屋表示板を無料で配布します。

▼申し込み 11月20日(月)までに電

忘れずに納めましょう ～納期限は11月30日(木)です～

市・道民税(第3期)と国民健康保険税(第6期)、介護保険料(普通徴収第5期)の納期限は11月30日(木)です。忘れずに納めましょう。

納入には、便利な口座振替制度もありますのでご利用ください。

▶問い合わせ 税務G (☎5720)、国保・年金G (☎1771)、高齢・介護・障害福祉G (☎5720)

話で企画G (☎1122)

簡単!楽しい!体操教室に 参加しませんか

家庭でも行える簡単な体操と体力測定を行います。みんなで楽しく体操を始めませんか。

▼日時 11月22日(水) 10時～12時

▼場所 婦人センター

▼対象 市内に居住し、軽い運動

ができる65歳以上の方

▼定員 30人(申込順)

▼参加料 無料

▼持ち物 動きやすい服装と靴、

飲み物(脱水予防のため)

▼申し込み 11月6日(月)から10日

(金)までに電話で高齢・介護・障害福祉G (☎5720)

クリンクルセンターからのお知らせ

再生展示品を販売します



市は、クリンクルセンターの再生品展示室に展示されている家具などのリサイクル品を販売します。なお、購入希望者が多数の場合は抽選とします。

▶**対象** 市内または白老町に居住する20歳以上で、抽選日から1週間以内に自己搬出ができ（1週間以内に搬出されない場合は無効となります）、抽選日当日、会場に来ることができる方
※リサイクル業を営んでいる方は申し込みできません。

▶**抽選日** 11月19日(日) 10時～

▶**場所** クリンクルセンター市民ギャラリー

▶**販売価格** 500円～

▶**展示品** タンス、食器棚、学習机、自転車など
※自転車は無料です。

▶**申込方法** 11月6日(月)～17日(金)の9時から17時までに、リサイクル品の中から希望するものを選び、クリンクルセンターに備え付けの申込用紙によりお申し込みください（1人1点とします）

申請はお済みですか？

指定ごみ袋とし尿処理無料券を交付します

市は、次の世帯の方に指定ごみ袋（燃やせるごみ）30ℓ用を年間20枚、し尿処理無料券を年間1枚（くみ取り世帯対象）交付しています。

これまで交付を受けたことがない方や新たに対象になられた方は、申請してください。

▶対象

- 重度心身障がい者在宅世帯（身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳各1・2級、療育手帳A判定）
- 知的障がい者（IQ50以下）在宅世帯
- 65歳以上の寝たきり老人在宅世帯（常時寝たきりの状態が6カ月以上）

▶**申請方法** 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかと印鑑（朱肉を使うもの）を持参し、市民サービスグループ（市役所本庁舎1階）、各支所、クリンクルセンターで申請してください

※詳しくはお問い合わせください。

▶**申請期限** 平成19年3月30日(金)

演奏会『アンデスの風をクリンクルで』を開催します

～登別環づくり市民委員会主催～

フォルクローレ演奏グループ『アプルナス』の演奏会です。

▶**日時** 11月23日(木) 開場17時、開演17時30分

▶**場所** クリンクルセンター市民ギャラリー

▶**定員** 200人（入場整理券が必要です）

※入場整理券を11月14日(火)から20日(月)（土・日曜日を除く）まで、クリンクルセンターで配布します。

▶**参加料** 無料

『申し込み』の『G』は『グループ』の略です

申し込み
問い合わせ

環境対策グループ（クリンクルセンター内 ☎ 2958）

平成19年度 学生募集中

	願書受付期間	試験日	合格発表
一般推薦試験二次	9/27(水)～11/21(火)	11/25(土)	11/30(木)
一般入学試験一次	9/27(水)～11/28(火)	12/ 2(土)	12/ 7(木)
社会人入学試験一次	9/27(水)～11/28(火)	12/ 2(土)	12/ 7(木)

専門課程 **介護福祉学科** 2年制・男女
 ※各種奨学金制度あります。※海外研修制度、留学も可能です(調理)。
おかげさまで13年連続就職希望者100%就職達成
 学校法人北斗文化学園 厚生労働大臣指定養成校

北海道福祉衛生専門学校

介護学科 〒051-0004 室蘭市母恋北町1-5-11 ☎(0143)22-7722(代) 入試・就職広報室/ ☎(0143)22-5005
 調理学科 〒051-0012 室蘭市山手町1-11-34 ☎(0143)25-2211(代) 入試広報室/ ☎(0143)25-2288

時代が変わっても、
あたたかさはかわらない。

第一滝本館

ご予約・お問合せは
 ☎(0143)84-2111 <http://www.takimotokan.co.jp>
 登別市登別温泉町55番地 info@takimotokan.co.jp

情報あら

広報のぼりべつ

『ちよっとひとこと』のコーナーに皆さんの声をお寄せください

市は、広報のぼりべつで、市民の皆さんの声を掲載しています。

日々の暮らしの中で感じたことや、まちを良くするための提案、楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問・意見・要望、広報のぼりべつを読んだ感想などを、情報推進グループへ電話やはがき、封書、ファクス、Eメールでお寄せください。

紙面上で匿名を希望される方も、住所、氏名、電話番号をお知らせください。

なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

▼問い合わせ 情報推進G (〒059

10012 中央町6丁目11・

☎6586・FAX1108・

Eメール: pr@city.noboribetsu.

hokkaido.jp)

第2回図書館まつりを開催します

～図書館まつり実行委員会主催～

▼日時 11月12日(日) 10時～16時

▼場所 市立図書館

▼内容 大井戸百合子原画展、パ

ネルシアター、手話クイズ、民

話の語りなど

▼問い合わせ 市立図書館

(☎4324)

ご存じですか

国民年金(第1号被保険者)の独自給付『付加年金』制度

将来受け取る年金額を増やしたい国民年金第1号被保険者(自営業者、学生など)のために、『付加年金』制度があります。

『付加年金』制度は、月額400円の付加保険料を毎月、定額保険料(平成18年度1万3千860円)に加えて納めることにより、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされて支給される制度です。

なお、国民年金基金加入者は、付加年金保険料を掛けられないなどの制約がありますので、詳しくはお問い合わせください。

◎将来受け取る付加年金額の例

20歳から40年間、付加保険料を

納めた場合

●納めた付加保険料

400円×480月(40年) ≡ 19万2千

円

●受け取る付加年金(年額)

200円×480月(40年) ≡ 9万6千

円

※付加保険料を納めた月数に200円を乗じた額を、毎年受け取ることができます。

▼問い合わせ 国保・年金G

(☎1771)

登別温泉公民館が利用できません

登別温泉公民館の改修工事のため、次の期間利用できません。

▶全館利用できない期間 11月20日(月)～平成19年3月20日(火)

※和室のみ、平成19年1月6日(土)から使用できます。

▶問い合わせ 社会教育グループ (☎1129)

11月の市立図書館行事

▶日時・場所・行事名

日時	場所	行事名
11月4日(土) 10時30分	鷺別公民館	DVD上映会
11月4日(土) 13時30分	市立図書館	読み語り『絵本劇場』
11月8日(水) 10時30分		『わらべうたと絵本』の読み聞かせ
11月12日(日) 10時～16時		図書館まつり
11月25日(土) 13時30分		読み聞かせ『おはなしぼけっと』

申し込み
問い合わせ

市立図書館 (☎4324)

12月の粗大ごみ収集

地区名	収集日	申込期間 (土・日曜日、祝日を除く)
新生町3・4丁目	12月4日(月) ～9日(土)	11月20日(月) ～12月1日(金)
鷺別町1～3丁目	12月11日(月) ～16日(土)	11月27日(月) ～12月8日(金)
新生町1・2丁目	12月18日(月) ～23日(土)	12月4日(月) ～15日(金)

※粗大ごみの収集は、電話で受け付けしています。
※粗大ごみは、1品ごとにごみ処理券(1枚160円)を張って出してください(1回につき5品まで)。
※粗大ごみの収集日は、『家庭ごみ収集カレンダー』にも掲載しています。また、今後の『広報のぼりべつ』でもお知らせします。

申し込み 申込期間の9時～17時(土・日曜日、祝日を除く)に電話で(有)登和清掃・☎02000)

問い
合わせ

環境対策グループ
(クリンクルセンター内☎2958)

子育て支援センターからのお知らせ

中央・登別子育て支援センターの 午後の利用時間を変更します

11月13日(月)から、試行としてセンター開放日(月・水・金曜日)の午後の利用時間を次のとおり変更します。

▶変更後の午後の利用時間

●13時30分～16時

※午前の利用時間(10時～12時)は変更ありません。

移動子育て支援センターに 遊びに来ませんか

▶日時 11月17日(金) 10時～12時

▶場所 若草放課後児童クラブ(若草小学校内)

※小学校裏よりお入りください。

▶対象 市内に居住する小学校入学前のお子さんとその保護者

▶内容 子どもたちや保護者の交流

▶持ち物 上靴(子ども・保護者とも)

※直接会場にお越しください。

※車でお越しの方は、放課後児童クラブ玄関前(若草小学校裏)の駐車場をご利用ください。

▶問い合わせ 中央子育て支援センター

お父さんと遊ぼうを開催します

▶日時 11月18日(土)
10時～12時

▶場所 中央子育て支援センター

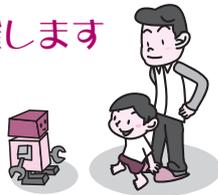
▶対象 小学校入学前のお子さんとお父さん

▶内容 絵本や遊具を使った自由遊びなど

※直接会場にお越しください。

※車でお越しの方は、駐車場をご利用ください。

▶問い合わせ 中央子育て支援センター



子育て講座

『天然素材を使ったソープ作り』

日ごろの育児からちょっと離れ、はちみつやエッセンシャルオイルを使った肌にやさしいソープ作りをしませんか。

▶日時 12月4日(月) 10時～12時

▶場所 婦人センター

▶対象 市内に居住する乳幼児の保護者

※託児を行います。事前に申し込みが必要です。

▶定員 20人程度(申込順)

▶参加料 700円

▶持ち物 筆記用具、ティーカップ(1客)、手ふき

▶申し込み 11月13日(月)から17日(金)までに電話(9時～17時)で登別子育て支援センター

保育所に遊びに来ませんか

▶開放の月日

●鷺別・幌別東・登別保育所…12月6日(水)

●富士・栄町保育所…12月7日(木)

▶時間 9時30分～11時

▶対象 市内に居住する小学校入学前のお子さんとその保護者

▶持ち物 上靴(子ども・保護者とも)

※直接各保育所にお越しください。

※天候により、外遊びを行うこともありますので、着替えを用意してください。

▶問い合わせ 中央子育て支援センター



申し込み・問い合わせ 中央子育て支援センター (☎81 3 7 1 5)
登別子育て支援センター (☎80 2 7 7 2)

『申し込み』
『問い合わせ』
中の『G』は『グループ』の略です

平成19年度 園児募集

登別地区の公認私立幼稚園は、平成19年度の園児募集を下記の通り行います。

11月1日より入園願書受付

※詳細は各園までお問い合わせ下さい。

登別市私立幼稚園協会

学校法人 北海道カトリック学園
登別カトリック聖心幼稚園
登別市中央町7丁目15 T85-2414
学校法人 北斗文化学園
リリー文化幼稚園
登別市鷺別町2丁目17 T87-2211

学校法人 登別立正学園
白菊幼稚園
登別市桜木町2丁目5番地3 T85-2545
学校法人 登別立正学園
コロポックルの森 白雪幼稚園
登別市登別本町2丁目25番地8 T83-1162

上田商事株式会社 豊かな暮らしを応援する

ユアーズラえだ

登別市新川町2丁目5番地1TEL(0143)85-7711

総合レンタル業 旅行・OA機器
什器備品・イベント 通信機器

株式会社 レンタコムウエダ

登別市新川町2丁目5番地1TEL(0143)85-1366

情報あら

『あなたの「もしや？」が子どもを救う。』が11月は児童虐待防止推進月間

子どもへの虐待が、大きな社会問題となっています。

このため、11月を『児童虐待防止推進月間』と定め、虐待の防止・早期発見・早期対応を目指して、取り組みを強化します。

市民の皆さんも、『虐待では』と思っただけすぐにご連絡ください。

▼連絡先 市子ども虐待相談室
(☎) 6677

岡志別の森運動公園パークゴルフ場とテニスコートの利用期間を延長します



▼延長期間 11月1日(水)～19日(日)

▼利用時間 9時～17時

※天候などにより変更する場合があります。

▼問い合わせ 岡志別の森運動公園管理事務所 (☎) 2525

『市民プールバスパック』をご利用ください

鷲別・登別・登別温泉地区の皆さんに、市民プールを気軽に利用していただくため、道南バスの路線バス運賃と市民プール入館料を組み込んだ『市民プールバスパック』を販売しています。

▶バスの利用区間

- 千代の台線…上鷲別方面～市民プール
- 登別・室蘭線…鷲別・上鷲別方面～クリンクルセンター前(市民プール)
- 登別・室蘭線…登別方面、登別温泉方面～クリンクルセンター前(市民プール)

▶パックの販売所 市民プール、市民会館受付、鷲別公民館、市役所内母子会売店、道南バス若山営業所、道南バス登別温泉ターミナル、川西燃料店

▶問い合わせ 社会教育グループ (☎) 1129

▶パック料金

(単位：円)

区分	乗車区間	通常の料金			パック料金 (運賃+入館料)
		バス運賃 (往復)	入館料	計	
一般	鷲別・上鷲別方面、登別方面～市民プール、クリンクルセンター前(市民プール)	620	500	1,120	900
高齢者		620	300	920	700
高校生		620	200	820	600
中学生		620	100	720	500
小学生		320	100	420	300
一般	登別温泉方面～クリンクルセンター前(市民プール)	920	500	1,420	1,000
高齢者		920	300	1,220	800
高校生		920	200	1,120	700
中学生		920	100	1,020	600
小学生		460	100	560	350

(注1) 表中、高齢者とは65歳以上の方です。

(注2) 登別方面とは汐見坂まで、登別温泉方面とは登別東インター前から登別温泉ターミナルまでです。

(注3) 表中、バス運賃(往復)は、それぞれ鷲別、登別駅前、登別温泉ターミナルからの乗車料金を例に表示していますが、パック料金は乗車区間内共通です。

(注4) パック券の利用は、登別市内からの乗車に限ります。また、市民プールを利用する場合に限り、パック券でバス(往復)に乗車できます。

(注5) バスの乗り継ぎをする場合、このパック券は利用できません。

365日、土・日もご利用いただけます

デイサービスセンター

ア*ンテルセンの丘

※ご利用体験並びに施設見学は随時受け付けております。お気軽にご連絡ください。

社会福祉法人 彩 咲 会
登別市富岸町1丁目7番地8
TEL (0143) 88-2272

下会キャンペーン

実施中!!

今なら、入会金無料!! さらに水着もプレゼント!!

急募 アルバイトスタッフ募集中 (未経験者歓迎!!)

JSS登別スイミングスクール

登別市若草町1丁目4番地6 TEL(0143)86-6800

かると

むし歯予防教室に参加しませんか

丈夫な歯をつくるために、親子で楽しく学びませんか。

- ▶日時 11月22日(水) 10時～12時
- ▶場所 しんた21
- ▶対象 1歳から1歳6カ月までのお子さんとその保護者
- ▶内容 歯のお話と歯科検診(講師…吉田和広さん・ヨシタ歯科)、育児相談、交流会
- ▶定員 20組(申込順)
- ▶持ち物 お子さんの歯ブラシ、母子健康手帳
- ▶申し込み 11月1日(水)から17日(金)(土・日曜日、祝日を除く)までに電話でお申し込みください

エキノコックス症血清検査を行います

- ▶日時・場所
- 12月4日(月) 18時～19時 鷺別公民館
- 12月6日(水) 18時～19時 しんた21
- ▶対象 市内に居住する小学3年生以上で、前回の検査から5年以上経過している方
- ▶検査料 無料
- ▶申し込み 11月24日(金)(土・日曜日、祝日を除く)までに電話でお申し込みください

ポリオ生ワクチン追加接種を行います

ポリオの免疫を有する割合が低い昭和50年から昭和52年までに生まれた方を対象にした、ポリオ生ワクチンの追加接種です。

- ▶日時 11月24日(金) 12時45分～13時15分
- ▶場所 しんた21
- ▶料金 1,100円
- ※母子健康手帳をお持ちの方は、持参してください。
- ▶申し込み 11月22日(水)(土・日曜日、祝日を除く)までに電話でお申し込みください

12月の集団予防接種

種類	場所	日時	対象	接種回数
BCG	しんた21	12月5日(火) 12:45～13:15	出生直後から6カ月未満児	1回接種
	鷺別公民館	12月22日(金) 12:45～13:15		

【接種上の注意】

- 通院中の方は接種してよいかを主治医と相談してください
- 必ず母子健康手帳を持参してください
- ※予防接種は無料で受けられます。
- ※年間日程表は、接種場所やしんた21で配布しています。

健康相談・診査

申し込み
問い合わせ

健康推進グループ
(しんた21内 ☎ 01100)



◎8カ月児健康相談

クラス	対象	受付時間
ひよこ	平成18年4月生まれで第2子目以降のお子さん	10:15 ～ 10:30
もぐもぐ	平成18年4月生まれで第1子目のお子さん	12:45 ～ 13:00

- ▼月日 12月20日(水)(時間は、対象となる家庭に通知します)
- ▼場所 しんた21
- ▼内容 身体計測、栄養相談、育児相談、遊びの紹介
- ▼持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ
- ◎乳幼児健康相談
- ▼月日 12月20日(水)
- ▼受付時間 10時～10時15分
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 育児相談を希望する方
- ▼内容 発育・発達・育児などの相談、栄養相談
- ▼申し込み 事前に電話でお申し込みください

◎4カ月児健康診査

- ▼月日 12月21日(木)(時間は、対象となる家庭に通知します)
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成18年7月16日～平成18年8月15日生まれのお子さん
- ▼内容 診察、身体計測、栄養相談、育児相談
- ▼持ち物 母子健康手帳、バスタオル、替えオムツ

◎1歳6カ月児健康診査

- ▼月日 12月13日(水)(時間は、対象となる家庭に通知します)
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成17年5月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、歯科検診、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談、フッ素塗布(希望者800円)
- ▼持ち物 母子健康手帳、お子さんの歯ブラシ

◎3歳児健康診査

- ▼月日 12月7日(木)(時間は、対象となる家庭に通知します)
- ▼場所 しんた21
- ▼対象 平成15年11月生まれのお子さん
- ▼内容 診察、歯科検診、尿検査、身体計測、栄養相談、歯科相談、育児相談
- ▼持ち物 母子健康手帳

しんた21からのお知らせ

申し込み・問い合わせ
健康推進グループ（しんた21内 ☎ 0100）

高齢者対象のインフルエンザ 予防接種を行っています

インフルエンザによる肺炎などの合併症を引き起こす確立が高い高齢者を対象に、予防接種を行っています。

▶対象

- ①65歳以上の方（接種日現在）
- ②60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能障害、または、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害で、身体障害者手帳（1級）をお持ちの方（接種時に身体障害者手帳の提示が必要です）

▶接種料金 自己負担額1,050円（総額4,074円のうち3,024円は市が負担）

※次の方は無料となります。

- 市民税非課税や生活保護受給の方（接種時に、介護保険料納入通知書、介護保険料額決定通知書、課税証明書（有料）、生活保護受給証明書のいずれかを提示してください）
- 国民健康保険に加入している方（接種時に保険証を提示してください）

※建設国保は対象になりません。

※接種時に、提示書類の確認ができない場合は、有料になります。

▶接種期間 11月1日(水)～12月31日(日)

▶接種場所 登別・室蘭市内でインフルエンザ予防接種を行っている医療機関

※予約が必要な医療機関もあります。

離乳食教室に参加しませんか

楽しみながら離乳食を作ってみませんか。託児も用意しています。

▶日時 11月14日(火)
10時～12時

▶場所 しんた21調理室

▶対象 生後4～6カ月児を持つ保護者

▶定員 15人（申込順）

▶内容 離乳初期（4～6カ月）の離乳食の調理実習と交流

▶持ち物 エプロン、スカーフ

▶参加料 300円

▶申し込み 11月9日(木)（土・日曜日、祝日を除く）
までに電話でお申し込みください



グリーンデータバンク

問い合わせ／土木公園グループ（☎ 4115）

家庭で育てられなくなった庭木などを登録し、欲しい方に無料であっせんする制度です。

樹木を提供していただける方やあっせんを希望する方は、電話でお申し込みください。

また、グリーンデータバンクのご利用は市内に居住する方に限ります。

なお、樹木などの掘り起こしや引き取り、運搬は、受け取りを希望する方に行っていただきます。詳しくは、お問い合わせください。

ゆずります

番号	名称	高さ	葉張	本数
1	ドウダンツツジ	約1.0㍍	約0.6㍍	1本
2	ツツジ(ピンク)	約0.8～約1.0㍍	約0.8～約1.0㍍	2本
3	ツツジ(薄ピンク)	約1.0㍍	約1.0㍍	1本
4	ツツジ(紫)	約0.6～約1.1㍍	約0.4～約0.7㍍	3本
5	ツツジ(白)	約0.8～約1.3㍍	約0.5～約0.9㍍	5本
6	ツツジ(えんじ)	約0.7㍍	約0.8㍍	1本
7	ヤマツツジ	約1.0㍍	約0.5㍍	1本
8	シャクナゲ	約1.3㍍	約0.7㍍	1本
9	リンゴ	約1.4㍍	約0.3㍍	1本

11月の歯科救急医療

※受付時間は9時から11時までです。

月日	診療所名	住所・電話番号
11月3日(金)	エルム 歯科 中央診療所	室蘭市幸町5-3 (☎ 28828)
11月5日(日)	工藤 歯科医院	室蘭市中島町1丁目23-25 (☎ 47667)
	三国ファミリー 歯科	登別市美園町4丁目2-12 (☎ 61111)
11月12日(日)	黒田 歯科医院	室蘭市輪西町1丁目20-10 (☎ 45049)
	福田 歯科医院	伊達市錦町92-7 (☎ 01422 4107)
11月19日(日)	水野 歯科医院	室蘭市東町2丁目19-14 (☎ 44500)
11月23日(木)	本 田 歯 科	室蘭市港南町1丁目9-19 (☎ 23322)
11月26日(日)	日鋼記念病院 歯 科	室蘭市新富町1丁目5-13 (☎ 241717)

問
い
合
わ
せ

室蘭歯科医師会（☎ 433522）

かると

『登別市民宿泊割引優待券』を配布します

登別温泉旅館組合は、本年も登別市民宿泊割引優待券を登別市民1世帯に1枚配布します。
優待券は、今月号の広報紙に折り込みしてあります。

▼問い合わせ 登別温泉旅館組合
(登別観光協会内 ☎ 843311)

『税に関する作品展』にお越しください

11月11日(土)から17日(金)までの『税を考える週間』にちなみ、税に関する作品展を開催します。

▼日時 11月13日(月)～17日(金) 9時～17時30分

▼場所 市役所本庁舎

▼内容 小学6年生による税に関する標語などの展示

▼問い合わせ 室蘭税務署税務広報広聴官 (☎ 24403)

平成18年分年末調整説明会を開催します

▼日時 11月17日(金) 14時～16時

▼場所 市民会館大ホール

▼対象 従業員の給与から所得税の源泉徴収を行っている事業主

▼内容 年末調整の仕方、用紙の

記載方法、今年度の改正点など
▼問い合わせ 室蘭税務署源泉所得税担当 (☎ 24436)

道立室蘭高等技術専門学院 平成19年度学生募集

▼訓練科・課程・定員など

訓練科	課程	定員	訓練期間	応募資格
機械科	普通	20人	1年	高等学校卒業(卒業見込み)の方、またはこれと同等以上の学力を有すると認められる方
溶接科		20人		
観光ビジネス科		30人		
配管科	短期	20人		中学校卒業(卒業見込み)の方
塗装科	短期	20人		

▼課程・受付期間・選考日

課程	受付期間	選考日
普通	11月1日(水)～20日(月)	12月4日(月)
短期	12月1日(金)～平成19年1月20日(土)	平成19年2月5日(月)

▼問い合わせ 道立室蘭高等技術専門学院 (☎ 43522) また

はハローワークむろらん (☎ 28689)

石綿の疾病に係る『特別遺族給付金』について

業務により石綿ばく露を原因とする指定疾病により、昭和22年9月1日から平成13年3月26日まで死亡した労働者の遺族で、労働者災害補償保険法の遺族補償給付を受ける権利を時効(死亡の翌日から起算して5年)により消滅した方に対して『特別遺族給付金』が支給されることになりました。

▼指定疾病 中皮種、肺がん、石綿肺、びまん性胸膜肥厚、良性石綿胸水

▼給付金の種類 特別遺族年金、特別遺族一時金

▼請求期限 平成21年3月26日

▼問い合わせ 室蘭労働基準監督署 (☎ 26131)

職場でのトラブル、解決へのお手伝いをします

北海道労働局の各総合労働相談コーナーは、職場のトラブルを迅速に解決するシステムとして、個別労働紛争の解決援助サービスを無料で提供しています。

お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ 室蘭総合労働相談コーナー(室蘭労働基準監督署

内 ☎ 26131)

『申し込み』『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

不動産登記<相続・売買・贈与など>
債務整理<毎月返済すると生活費が不足していませんか?>
—早期ご相談が解決へのみちです—
お問合せ先0143-81-2000
くろさき司法書士事務所
登別市中央町7丁目28番地1

野口観光グループ
温泉のご予約は
↓“野口観光”で検索すればアクセスが簡単です。↓
<http://www.noguchi-g.com/>
観光情報やおトクな情報も!

情報あら

ユニセフ募金にご協力ください

日本ユニセフ（国際連合児童基金）協会は、アジアやアフリカ、津波の被災地の子どもたちの支援のため、募金活動を行います。皆様のご協力をお願いします。会場では、ユニセフのクリスマスカードも販売します。

また、『アフリカへ毛布を送る運動』への協力もしていますので、不用の毛布がありましたらご連絡ください。

- ▼日時 11月23日(木) 10時～15時
- ▼場所 アーニス1階
- ▼問い合わせ 日本ユニセフ協会
北海道支部室蘭友の会登別担当
川瀬さん（☎③1027）

赤い羽根共同募金にご協力ください



今年で60回目を迎える赤い羽根共同募金運動は、いつでも、どこでも、どなたでも参加できるボランティア活動です。

誰もが安心して暮らせるまちづくりのため、皆さんのあたたかい思いやりをお寄せください。

- ▼期間 12月31日(日)まで
- ▼問い合わせ 登別市共同募金会
(登別市社会福祉協議会内 ☎⑧0860)

小規模企業共済制度、経営セーフティ共済のご案内

◎小規模企業共済制度

個人事業主や会社などの役員の方が、事業をやめられたり、退職されたりした場合の資金をあらかじめ準備しておく、国がつくった制度で、『小規模企業経営者のための退職金制度』といえます。

掛け金は、全額所得控除となり、受け取る共済金も退職所得扱い、または公的年金等の雑所得扱いとなります。

◎経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済制度）

取引先の突然の倒産が原因で、経営悪化の危機に直面したときに、資金を借り入れることができる制度で、中小企業を守るために国がつくった制度です。

無担保・無保証人で、積み立てた掛け金の10倍の範囲内（限度額3千200万円）で、被害額相当の共済金の借入れができ、毎月の掛け金も税法上の必要経費、または損金に参入することができます。

- ▼問い合わせ 登別商工会議所
(☎⑤4111)

あなたも『卒煙』しませんか

市は、市民の皆さんを対象に禁煙対策事業を始めます。

ほかの方法に比べて成功率が高いといわれているニコチンパッチの処方とカウンセリングを組み合わせた『禁煙治療』で、専門医療機関で受診する際に、その費用の一部を市が助成します。

また、これに先立って専門の医師による禁煙についての講演会を行います。

あなたもこの機会に禁煙に取り組み、健康づくりに挑戦しませんか。

◎禁煙治療の助成

- ▶治療内容 2週間に1回、14日分のニコチンパッチ処方とカウンセリングを受け、これを4回（合計8週間）続けます
- ▶受診期間 12月1日(金)～平成19年3月31日(土)の期間で、受診者が希望する連続した8週間
- ▶対象 市内に居住する70歳未満で、11月30日(木)に開催する講演会に参加できる方（すでに禁煙治療を受けている方は除きます）
- ▶定員 20人（定員を超えた場合は、国民健康保険加入者を優先します）
※定員に達しない場合は、引き続き募集を行います。
- ▶費用 4,000円（1回につき1,000円を病院窓口で支払い）
※4,000円を超えた金額を、市が助成します。

- ▶受診できる医療機関 開田医院（中央町5丁目4-3）
- ▶申し込み 11月1日(水)から30日(木)（土・日曜日、祝日を除く）までに電話でお申し込みください
※開田医院では申し込みを受け付けていません。

◎禁煙に関する講演会

- ▶日時 11月30日(木) 13時30分～
- ▶場所 市役所本庁舎2階第3委員会室
- ▶テーマ 『卒煙』しませんか
- ▶講師 開田博之さん（開田医院）
- ▶対象 市内に居住する方
- ▶申し込み 電話でお申し込みください（申込順）
※詳しくはお問い合わせください。

申し込み・問い合わせ
国保・年金グループ（☎⑧1771）

かると

大健康フェア2006を 開催します

～西胆振健康づくり応援団～

▼日時 11月12日(日) 10時～16時
▼場所 室蘭市市民会館(室蘭市輪西町)

▼内容 『ヘルシー弁当』販売、プロの調理技術披露と試食、わが家の健康料理コンクール、ヘルシーメニュー展示、医師の健康講座、栄養相談など

※詳しくはお問い合わせください。
▼問い合わせ 室蘭保健所健康推進課(☎249844)

『ヘルスサポーター21の 集い』を開催します

『ヘルスサポーター21』は、自分の健康指標に基づき、自己実現を目指すマンパワーの活動です。

▼日時 11月17日(金) 9時30分～15時

▼場所 しんた21
▼対象 市内に居住する20歳以上の方

▼定員 30人(申込順)

▼参加料 200円(材料・食材費)
▼内容 講話、調理実習(バランスのとれた食事)、健康チェックなど

▼持ち物 エプロン、三角きん、筆記用具

▼申し込み 11月14日(火)までに電話で登別市食生活改善推進員協議会・安達さん(☎857845)

パソコン講習会を開催します ～シニアワークショッププログラム事業～



▼日時 11月20日(月)～30日(木) 日曜日、祝日を除く8日間 9時～15時

▼場所 登別地方高等職業訓練校
▼対象 市内に居住する60歳代の方

▼受講料 無料

▼定員 20人(定員を超えた場合は抽選を行います)

▼抽選日時 11月14日(火) 9時30分

▼抽選場所 労働福祉センター

※抽選の有無を11月10日(金)の13時から13日(月)までに電話でお問い合わせください。抽選に参加できない場合は受講できません。

▼申し込み 11月10日(金)の12時までに電話で登別市シルバー人材センター(☎880880)

『申し込み』『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

自衛官募集案内

募集種目	応募資格	受付期間	試験日
2等陸海空士	18歳以上27歳未満の男性の方	11月下旬まで(予定)	12月8日(金)・9日(土)
貸費学生	大学の理・工学部の2年生～大学院生の方(26歳未満、大学院生は28歳未満)	12月1日(金)～平成19年1月19日(金)	平成19年2月4日(日)
自衛隊生徒	中学校卒業(卒業見込み)の17歳未満の男性の方	11月1日(水)～平成19年1月9日(火)	1次 平成19年1月13日(土) 2次 平成19年1月26日(金)～29日(月)

●自衛官募集に関する相談先(自衛官募集相談員)

氏名・住所・電話番号	氏名・住所・電話番号
えびな しょうざぶろう 海老名 庄三郎(新井町4丁目5-1・☎85014)	さとう かつあき 佐藤 勝明(桜木町4丁目7-13・☎6114)
やまぐち のぼる 山口 登(中央町2丁目4-1・☎2932)	いくた のぼる 生田 昇(美園町3丁目48-1・☎2683)
むらた まさみ 村田 政美(常盤町3丁目9-6・☎2316)	しおたに のりこ 塩谷 則子(若草町3丁目2-7・☎4825)
はやま しげる 羽山 茂(中央町7丁目24-1・☎8846)	やまぐち けんじ 山口 賢治(青葉町34-9・登別中央病院内☎1000)

問い合わせや資料・
志願票などの請求先

〒050-0083 室蘭市東町2丁目21-12 石井ビル1階 自衛隊札幌地方協力本部室蘭地域事務所(☎449533)
〒059-0012 登別市中央町6丁目11 登別市総務グループ(☎1130)

第58回全国植樹祭 道民公募参加者募集

◎第58回全国植樹祭

- ▼月日 平成19年6月24日(日)
- ▼時間 記念植樹 7時～9時30分、記念式典 10時30分～12時30分

▼場所 苫小牧東部地域『つた森山林』隣接地(苫小牧市字静川)

◎募集内容

- ▼対象 北海道内に居住する①個人、②家族(6人まで)、③団体(10～40人程度)
- ▼定員 3千人程度(定員を超えた場合は抽選)
- ▼申込方法 11月1日(水)から12月12日(火)までに、郵便番号、住所、氏名、フリガナ、性別、生年月日、電話番号、車いす利用の有無、禁忌症(食物アレルギーなど、お弁当配布のため)、特記

事項を記入して、個人、家族は往復はがきで、団体は専用様式による封書、または電子メールでお申し込みください

▼申し込み 第58回全国植樹祭実行委員会道民公募係

(〒060-18558 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館・☎011-204-5522・Eメール suirin.syokujin2@pref.hokkaido.jp ホームページ <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/zsj/>)

料理教室に参加しませんか ～登別厚生年金病院主催～

- ▼日時 11月24日(金) 10時～12時30分
- ▼場所 登別厚生年金病院3号棟2階調理実習室
- ▼内容 食べやすい(柔らかい)おせち料理
- ▼講師 登別厚生年金病院管理栄養士

無料法律相談

交通事故や金銭貸借、損害賠償、離婚などの法律問題について、札幌弁護士会室蘭支部の弁護士が相談をお受けします。相談を希望する方は11月29日(水)までにお申し込みください。

※裁判や調停中のもの、同じ方による同一内容の相談はお受けできません。

◎鉄南ふれあいセンターでの相談

- ▶日時 12月16日(土) 9時30分～12時
- ▶場所 鉄南ふれあいセンター
- ▶担当弁護士 村上弘弁護士
- ▶定員 6人(申込順)

◎弁護士事務所での相談

- ▶担当弁護士 村上弘弁護士
 - ▶定員 6人(申込順)
- ※相談日時は、市民サービスグループにお問い合わせください。

くらしの無料相談

相続や遺言、各種契約などで官公署に提出する書類について、北海道行政書士会室蘭支部の行政書士が、無料で相談をお受けします。

- ▶日時 11月11日(土)、12月9日(土) 9時30分～12時
- ▶場所 鉄南ふれあいセンター
- ▶定員 各10人(申込順)
- ▶申し込み 11月分は11月10日(金)、12月分は12月8日(金)までに電話(土・日曜日、祝日を除く)でお申し込みください

※直接会場にお越しいただいても相談できますが、できるだけ事前にお申し込みください。



◎申し込み・問い合わせ

市民サービスグループ (☎81855)

あなたのキャリアをもう一度生かしてみませんか

北海道は、看護師免許をお持ちで「これからまた仕事に就きたい」と考えているけれど、ブランクが長いなどの不安から、一歩踏み出せないでいる方を応援する『再就業のための研修』を行っています。

- ▼対象 ナースバンク登録者で1年以内に再就職を希望する方
- ▼研修内容 看護技術の見学や実習(1～5日間程度)
- ▼研修場所 居住する地域の希望する施設

11月は『建設雇用改善推進月間』です

北海道労働局や雇用・能力開発機構北海道センター、北海道建設業協会は、建設労働者の雇用改善を図るため、毎年11月を『建設雇用改善推進月間』と定め、啓発活動などを行っています。

- ▼事業内容 ハローワーク：建設雇用改善事業所訪問、雇用・能力開発機構北海道センター：建設労働者の雇用改善に関する相談や援助活動、雇用管理研修、建設雇用改善助成金の支給など
- ▼問い合わせ ハローワークむろらん (☎28689)

養士

- ▼定員 8人(申込順)
- ▼参加料 無料
- ▼持ち物 エプロン
- ▼申し込み 11月22日(水)の15時までに電話で登別厚生年金病院栄養部・水野さん (☎803235)

▼研修時期 随時受け付け

▼受講料 無料

- ▼問い合わせ 北海道看護協会ナースセンター (☎011-863-6731)

かると

室蘭工業大学ジュニア ロボットスクール2006 (追加募集) 参加者募集

▼教室名・日時・内容など

教室名	日時	内容	参加料	定員
教室2	11月25日(土) 13時~17時	電子回路とロボット工作	1人100円程度 (傷害保険料)	8組 (2・3人で1組)
教室3	12月2日(土) ~23日(土)の 毎週土曜日 (全4回) 13時~17時	ゼロから作る サッカーロボット	1人400円程度 (傷害保険料)	8組 (3・4人で1組)

※定員を超えた場合は抽選。

▼場所 室蘭工業大学ものづくり

基礎センターセミナー実習室

▼対象 小学5年生~中学生(保護者同伴可)

▼申し込み 11月13日(月)までに室

蘭工業大学地域連携推進課 (☎

④5023)

『インターネット安全 教室』を開催します

経済産業省・NPO法人日本
セキュリティ協会共催

インターネットを安全・快適に
活用するにはどうしたらよいか、

被害にあったときはどうしたらよ
いかなど、この機会に基礎知識を
身に付けてみませんか。

▼日時 11月11日(土) 14時30分~
16時30分(開場14時)

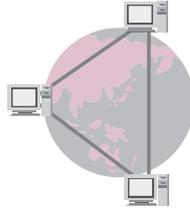
▼場所 室蘭市中小企業センター

3階大会議室(室蘭市東町4丁
目29-1)

▼定員 100人

▼参加料 無料

▼申込方法 住所、氏名、職業、
年代を明記の上、ファクスまた
はEメールでNPO法人くるく
るネット



▼問い合わせ NPO法人くるく
るネット (☎・FAX) ②2101、

Eメール: toriyama@kururu2.net

講演会『郷土史のタベ』に お越しく下さい

▼日時 11月7日(火) 18時

▼場所 市民会館中ホール

▼演題 『郷土史の暴走』

▼講師 水野俊平さん(北海商科
大学教員)

▼参加料 無料

▼問い合わせ 登別郷土文化研究
会・佐々木さん (☎) ⑤5213

『申し込み』中の『G』は『グループ』の略です
▼問い合わせ

文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

申し込み・問い合わせ

☎⑧1116

寺井尚子コンサート2006を開催します

- ▶日時 11月18日(土) 開場18時、開演18時30分
- ▶場所 市民会館大ホール
- ▶出演 寺井尚子さん(ヴァイオリン)、北島直樹さん(ピアノ)、成重幸紀さん(ベース)、中沢剛さん(ドラムス、パーカッション)
- ▶入場料 前売り券3,000円、当日券3,500円(全席指定)

※未就学児童は入場できません。

▶入場券販売所 市民会館、鶯別公民館、市役所内
母子会売店、紀文堂、アーニス、登別観光協会

チャンティ織教室を開催します

- ▶日時 12月5日(火)・12日(火)・19日(火)(全3回)
10時~12時
- ▶場所 市民会館
- ▶対象 市内に居住または通勤する方
- ▶内容 コースター状のものを1枚1枚織っている、平織りのミニマフラーを作ります
- ▶講師 海馬澤和代さん(日本織物協会北海道第14支部長)
- ▶定員 10人(申込順)
- ▶参加料 1,500円

- ▶持ち物 はさみ、とじ針
- ▶申し込み 11月6日(月)から13日(月)(土・日曜日を
除く)までに電話でお申し込みください

市民ミニバレー大会を開催します

- ▶日時 12月3日(日) 受け付け8時30分~45分 開
会式9時
- ▶場所 総合体育館
- ▶対象 市内に居住または通勤する18歳以上の方で
編成するチーム(1チーム4・5人)
- ▶種目 一般の部、競技者の部
- ▶参加料 一般の部1,000円、競技者の部2,000円
- ▶申し込み 11月20日(月)までに総合体育館備え付け
の申込用紙により参加料を添えて総合体育館 (☎
⑤5552)

市民作品展にあなたの作品を 展示してみませんか

- ▶展示日時 11月21日(火)13時~24日(金)12時
- ▶場所 市民会館
- ▶募集作品 絵画や書道、写真、木工品などで、壁
掛け、机上、床展示が可能な作品
- ▶申し込み 11月10日(金)(土・日曜日、祝日を除く)
までに電話でお申し込みください

情報あら

第1回糖尿病フェアを開催します

- ▼月日 11月11日(土)
- ▼場所 室蘭市中小企業センター
(室蘭市東町4丁目29-1)
- ▼時間・内容・参加料

時間	内容	参加料
11時～15時	展示・測定コーナー	無料
	相談コーナー	
11時45分～12時30分	昼食会 (定員40人、申込順)	500円
13時～14時30分	講演会『家庭でできる簡単で楽しい運動の実践』 講師 谷崎昌代さん(ニッテツスポーツセンタートレーニングアドバイザー)	無料

▼昼食会申込方法

往復はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢を記入し、〒050-0076 室蘭市知利別町1丁目45・新日鉄室蘭総合病院CDE事務局
院CDE事務局(☎090-3339517020)

暮らしと家計の講習会

～あなたも今日から生活上手～

家計簿を付けようと思っ
ている方、どうしたら無駄のない生活が

できるのかとお考えの方、ぜひご参加ください。
▼日時・場所

日時	場所
11月16日(木) 10時～12時	だて歴史の杜カルチャーセンター
11月17日(金) 10時～12時	室蘭市市民会館
11月17日(金) 18時30分～20時	室蘭友の家
11月21日(火) 10時～12時	登別中央福音教会

▼参加料 前売り400円、当日450円
※託児を希望の方は事前にお申し込みください(託児料100円)。
▼問い合わせ 室蘭友の会
(☎0605)

『市民ゲームを楽しむ会』を開催します

～登録レクリエーション協会主催～

▼日時 11月12日(日) 10時～12時
(受け付け9時30分)

▼場所 鉄南ふれあいセンター

▼内容 ゲームと健康体操

▼定員 50人(申込順)

▼参加料 無料

▼持ち物 動きやすい服装、タオル

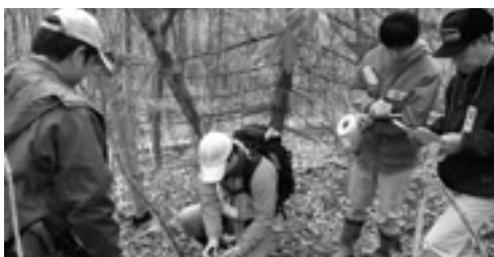
▼申し込み

11月10日(金)までに電話で登録レクリエーション協会・

佐々木さん(☎867570)

ふおれすと鉱山からのお知らせ

チカタビレンジャー 『里山をつくろう～来年にむけて』



晩秋は、里山づくりの時期です。来年植樹する苗木の準備を行います。

- ▶日時 11月18日(土) 10時～15時
- ▶場所 ふおれすと鉱山
- ▶定員 20人(申込順、親子参加可)
- ▶参加料 100円(お茶代として)
- ▶持ち物 野外で活動できる服装、昼食、長靴、飲み物、タオル、雨具など

モモくら流草木染め ～NPO法人モモンガくらが主催～

- 季節の素材を使った染め物を作ってみませんか?
- ▶日時 11月8日(水) 10時～12時、13時～15時
 - ▶場所 ふおれすと鉱山
 - ▶定員 各15人(申込順)
 - ▶参加料 500円

ランプシェードづくり ～NPO法人モモンガくらが主催～

- 自然の素材を使ってランプシェードを作ります。
- ▶日時 11月19日(日) 13時～15時30分
 - ▶場所 ふおれすと鉱山
 - ▶定員 10組(申込順)
 - ▶対象 小学生以上の方(18歳未満は保護者同伴に限る)
 - ▶参加料 1,000円(材料費)



申し込み・問い合わせ ふおれすと鉱山 (☎852569)

情報あらかると

ハーブサークル アロマ講座を開催します

- ▼日時 12月8日(金) 10時～12時
- ▼場所 市民会館調理室
- ▼内容 ハーブティーを楽しみながら天然素材を使ったネイルクリームを作ります
- ▼定員 23人(申込順)
- ▼参加料 1千200円(材料費)
- ▼持ち物 筆記用具、ティーカップ、手ふき
- ▼申し込み 11月6日(月)から15日(水)(土・日曜日を除く)までに電話またはファックスで磯野さん(☎・☎⑤1073)

登別柔道スポーツ少年団の 団員を募集しています

- 登別柔道スポーツ少年団は、小学1年生から中学3年生までの27人(内10人は女子)の仲間が鍛錬しています。
- けいこのほかに年4回の大会参加や会員相互の親睦く会などもあります。柔道をとおして健全な心と体を築きませんか。
- まずは、見学してから入団の検討をしてください。
- ▼練習日時 毎週月・木・土曜日 18時～20時
- ▼練習場所 登別大谷高校(青樹

館) ほか

- ▼対象 5歳以上の方
- ▼会費 月額2千円
- ▼申し込み 田中さん(☎⑤3449)

『市民野鳥教室』を 開催します

- ▼日時 11月18日(土) 14時～16時
- ▼場所 室蘭市中小企業センター視聴覚室(室蘭市東町4丁目29-1)
- ▼内容 冬鳥の生態とえさのお話、ビデオ上映、えさ合作りの実習、お楽しみ抽選会
- ▼参加料 無料
- ▼持ち物 ペットボトル、牛乳パック、割りばし、ナイフ、小ペンチ、軍手、サインペンなど
- ※直接会場にお越しください。
- ▼問い合わせ 日本野鳥の会室蘭支部・成田さん(☎⑤1866)

第7回調べの会コンサート 『琴、フルート、ヴァイオリン の夕べを開催します』

- ▼日時 12月1日(金) 開場18時、開演18時30分
- ▼場所 室蘭市市民会館(室蘭市輪西町)
- ▼入場料 500円
- ▼問い合わせ 東川さん(☎⑤1767)

『申し込み』『問い合わせ』中の『G』は『グループ』の略です

毎週木曜日は19時まで 住民票などの手続きができます



毎週木曜日(祝日を除く)、市役所本庁舎1番窓口は、19時までご利用できます。

▶取り扱う主な業務 戸籍、住民票(異動届を含む)、印鑑証明関係、出生・死亡届、外国人登録など

◎電話予約による証明書の交付

毎週金曜日(祝日を除く)の9時から17時までに次の証明書を電話で予約された方に、翌土曜日の9時から12時まで市役所宿直室で交付しています。

- 住民票の写し(本人または同一世帯のもの)
- 印鑑登録証明書(本人のもの)
- 外国人登録原票記載事項証明書(本人のもの)

問い合わせ
市民サービスグループ(☎⑤1855)

日本工学院北海道専門学校便り 問い合わせ(☎⑧0888)

今年度の初回MCP(マイクロソフト 認定プロフェッショナル)試験に5名合格

MCPとは、マイクロソフト社製品に関する技術力を認定する資格で、今回合格した学生は、ウインドウズXPの設定・管理に関する技術力を認定されたこととなります。

試験の内容は、パソコンのトラブル解決に役立つことも多く含まれ、非常に実務的な資格として知られています。

この資格取得の難易度はかなり高いのですが、本校は道内でトップクラスの合格者数を輩出しており、昨年度の1年間では21名が合格。今年度も残りの試験と合わせて同程度の合格者数が見込める好スタートとなっています。

体験入学のご案内

11月11日(土)・18日(土)・12月2日(土)に体験入学を行います。高校1～3年生が対象です。保護者の方のコースも用意していますので、多くの方の来校をお待ちしています。

社会教育グループからのお知らせ

模範となる青少年をご推薦ください

登別市青少年問題協議会は、平成18年度登別市青少年表彰を行います。

郷土登別市の担い手としての豊かな心と実践力を持ち、模範となる青少年を推薦してください。

▶表彰の種類・対象

●**青少年善行表彰** 市内に居住する28歳未満で、その活動が模範となる方

●**青少年団体活動者表彰**

①**個人** 市内に居住する28歳未満で、市内に組織され、活発な活動を続けている青少年団体に3年以上所属し、青少年団体活動の模範となる方

②**団体** 市内に組織されている青少年団体に、5年以上の活動を続け、その目的が健全な文化・教養・体育・奉仕活動であり、模範となる団体

●**優良勤労青少年表彰** 勤労年数が3年以上の市内に居住する28歳未満で、日常生活に誠実、精励で、職務技能の向上、研さんに努めるなど、模範となる方

▶**推薦者** 市内に居住する方、職場の長、団体の代表者など

▶**推薦・選考方法** 社会教育グループに備え付けの推薦書により、11月30日(木)までに提出してください。後日、登別市青少年問題協議会が表彰者を選考し、決定します

市民会館サークル展・家庭教育学級作品展にお越しく下さい

◎市民会館サークル展

▶日時 11月13日(月)13時～15日(水)17時

▶場所 市民会館1階

◎家庭教育学級作品展

▶日時 11月21日(火)13時～24日(金)12時

▶場所 市民会館1階

『年越しは手打ちそばで教室』開催

▶日時 11月25日(土)・26日(日) 9時30分～13時

▶場所 文化伝承館
(郷土資料館横)

▶対象 市内に居住する中学生以上の方

▶定員 各日20人(申込順)

※初めて参加される方を優先します。

▶講師 郷土資料館ボランティアグループSLG

▶参加料 850円

▶持ち物 胸からかけるエプロン、髪を覆うもの、手ふき2枚、そば持ち帰り用の容器、上履き

▶申し込み 11月8日(木)から10日(金)までに電話(10時～17時)で社会教育グループ



郷土資料館・文化伝承館 体験学習を開催します

◎フェルトアクセサリーづくり体験

羊毛をフェルトに加工して、かわいい動物のブローチを作ります

▶日時 11月11日(土) 10時～12時

▶場所 文化伝承館(郷土資料館横)

▶定員 20人(申込順)

▶参加料 100円

※高校生以上の方は別途入館料190円がかかります。

▶申し込み 11月1日(木)から電話(10時～16時)で郷土資料館

※4日(土)、6日(月)は休館日です。

◎第4回布のどつり作り

▶日時 11月18日(土) 9時30分～17時

▶場所 文化伝承館(郷土資料館横)

▶対象 市内に居住する18歳以上の方

▶定員 12人(申込順)

※初めて参加される方を優先します。

▶参加料 50円

※高校生以上の方は別途入館料190円がかかります。

▶持ち物 布切れ、昼食

▶申し込み 11月9日(木)から12日(日)までに電話(10時～16時)で郷土資料館

◎包丁とぎ体験

▶日時 12月2日(土) 10時～12時

▶場所 文化伝承館(郷土資料館横)

▶対象 市内に居住する小学5年生以上の方

▶定員 30人(申込順)

▶参加料 無料

※高校生以上の方は別途入館料190円がかかります。

▶持ち物 自宅で使用している包丁2丁程度

※包丁はケースに入れるか、布に包むなどしてください。

▶申し込み 11月14日(火)から電話(10時～16時)で郷土資料館



◎正月しめ飾りづくり体験

スゲを使った本格的なしめ飾りを作ります。自作のしめ飾りでお正月を迎えませんか。

▶日時 12月9日(土) 10時～12時

▶場所 文化伝承館(郷土資料館横)

▶対象 小学生以上の方(小学4年生以下は保護者同伴)

▶定員 30人(申込順)

▶材料費 1セット100円

※高校生以上の方は別途入館料190円がかかります。

▶申し込み 11月14日(火)から電話(10時～16時)で郷土資料館

申し込み・問い合わせ 社会教育グループ (☎⁰⁸1129)
郷土資料館 (☎⁰⁸1339)

かると

11月1日(水)から

電子申請サービスを開始しました

市は、市民や企業の皆さんが、インターネットを利用して市への申請・届け出の手続きを行う『電子申請サービス』を開始しました。

このサービスは、道内の自治体と共同で構築した『北海道電子自治体共同システム』を利用して行うもので、これまで市役所や支所の窓口で行っていた申請・届け出の手続きの一部が、自宅や職場のパソコンから時間的な制約を受けずに行うことができます（手数料の支払いや交付物の受け取りのため来庁が必要な場合もあります）。

また、引っ越しなど住所移転に伴い必要となる手続きの案内や申請書のダウンロードサービスも併せて行っていますので、ぜひご利用ください。

利用可能な手続きは？

利用可能となる手続きは、①付記転出届、②住民票交付申請、③住民票除票交付申請、④印鑑登録証明書交付申請、⑤老人保健受給資格喪失届、⑥老人保健受給資格変更届、⑦介護保険受給資格証明書交付申請、⑧介護保険料還付金受領口座指定届、⑨水道使用開始届、⑩給与所得者異動届の10手続きです。今後、電子申請対象手続きを拡大する予定です。

利用するには？

電子申請は、個人情報の改ざんやなりすましなどを防ぐため、電子的な手法で本人確認を行う必要があります。

このため、サービスの利用には、電子証明書が記録された住民基本台帳カードの取得など、事前に用意していただくものがあります。

なお、ダウンロードサービスはどなたでも自由にご利用できます。

利用するために必要なものは？

1. 電子メールの送受信が可能なパソコン
2. パソコンに接続する接触式のICカードリーダーライター
3. 個人や企業を認証する次のもの

●個人の方

『電子証明書が記録された住民基本台帳カード』（住民基本台帳カードを取得するには、市民サービスグループの窓口で、交付申請が必要になります。取得には発行手数料がかかります）

●企業の方

『商業登記に基づく電子認証制度』による法人認証（詳しくは、北海道電子自治体共同システムのホームページ（<https://www.harp.lg.jp/public/pki.html>）をご覧ください）

従来の申請・届出等	オンラインでの申請・届出等
申請用紙を入手 ↓ 手書きで記入 	申請書の作成 自宅や職場から ホームページにアクセス ↓ 画面に入力 
窓口を持参 もしくは郵送 	申請書の提出 自宅や職場に 居ながら インターネットで送信 
開庁時間のみ	受付時間 24時間365日

どこからでも
(自宅や職場)

いつでも
(24時間365日)

簡単に
(ホームページ感覚)



利用方法は？

北海道電子自治体共同システム (<https://www.harp.lg.jp>) や市 (<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp>) のホームページをご覧ください。

『申し込み』
『問い合わせ』
中の『G』は『グループ』の略です

問い合わせ 情報推進グループ (☎85) 5 1 0 9)

ちよつと びごと

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進グループへ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

情報推進グループ

☎(85) 6586
FAX (85) 1108
Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

絶対にやめよう 飲酒運転

福岡で子ども3人が犠牲になった事故が発生しても、飲酒運転による事故のニュースが数多く報道されている。

事故後、飲酒の事実をごまかすために現場から逃走し、飲酒量の検知を受けずに罪を軽くしようとする者までいる。

なぜ、お酒を飲んでも運転するのだろうか。運転免許証を持っている人で『お酒を飲んだら運転してはいけない』ことを知らない人はいないはずだ。

自覚がないといえどもそれまでだが、『自分だけは大丈夫』『自分は運転に自信がある』という気持ちがあるのだと思う。

毎日のように車を運転しているのに緊張感が無くなっているのではないだろうか。

しかし、車は鉄の塊である。お酒に酔ったまま運転すれば、人を傷つける凶器にもなる。

よく言われることだが、『飲んだら乗るな、乗るなら飲むな』だ。

素敵な散策路を一度 歩いてみませんか

(富士町・男性)

地獄谷散策路の1時間コースをガイドブック片手のアメリカ人のグループなど、外国から来た方が汗をふきながら歩いて行きます。

観光客はもちろん日本人が多いのですが、地獄谷から周りの山を見上げるだけか、車の中から紅葉を鑑賞して帰ってしまう方が多く、何か物足りなさを感じています。

ベテラン女性ガイドが、歩くのをちゅうちよとしていた2人組を散策路に誘ったら、「柔らかな土の上の落ち葉を踏む感触は、アスファルトの道では絶対味わえませんね。歩いた後の足湯は最高でした」と非常に喜んでくれたそうです。

新聞記者やテレビ局のスタッフの方も、このコースを実際に歩き、優しい自然の中で心が和む様子を紙面やテレビで知らせていました。

紅葉の季節はもうすぐ終わりますが、雪が降る前にこの素敵な散策路を一度歩いてみませんか。

(美園町・市民)

ほん

今月の新着図書

市立図書館 ☎(85)4324

藤沢周平 父の周辺

遠藤 展子 著

生涯、『普通が一番』と言い続けた父。駄じゃれで明るく夫を支えた義母。何気ない日常が宝物だった…。生後半年で生母を亡くした著者が愛情こめて在りし日を語る。ひとり娘が初めてつづった、素顔の藤沢周平。

新ホスピス宣言

山崎 章郎 著

病棟化するホスピスはどこへ向かおうとしているのか。ホスピス運動、コミュニティケア、ボランティアの可能性…。切り開かれるべき未来のために、対話を通してホスピスケアの普遍性を提言する。

このほかに新しく入った本

- ◇草しずく 高橋 順子 著
- ◇小説 経済産業省 天下 英治 著
- ◇女たちの江戸開城 植松三十里 著
- ◇累犯障害者 山本 謙司 著
- ◇書店繁盛記 田口久美子 著
- ◇学校再発見！ 岡崎 勝 著
- ◇ネコのダイエット 村松 友規 著
- ◇新平等社会 山田 昌弘 著

※図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

不用品ダイヤル市

お申し込み・お問い合わせは
登録消費者協会 ☎(85)8307

火～金曜日(祝日を除く) 10:00～16:00
※お申し込みは、市内に居住する方が対象です。

ゆずります(売ります)

- 電子オルガン●五月人形●マウンテンバイク(24インチ)●ひな人形●ワープロ●パソコン用モニター(15インチ)●もちつき器●スキー板(165センチ)●スキー靴(22.5センチ、25.5センチ)●ホッケー用スケート(22.5センチ、23センチ)●石油ストーブ(煙突付き)●三輪車(3～5歳用)●スタッドレスタイヤ(165-80-R13ホイール付き、155-80-R13ホイール付き、175-70-R13ホイール付き)●電動ミシン●オーブントースター●木製げた箱(120×75×26センチ)●子ども用学習机(木製・高さ調節あり)●スチール本棚●ピアノ●ホームタンク(90リットル)●水槽(長さ90×奥行45センチ、60×30×30センチ、50×26×36センチ)●食器棚(ステンレス製)●ゴルフクラブ(左利き用アイアン9本)●剣道着(はかま・防具一式、中・高生用)●パソコン用スキャナー●冷蔵庫(78リットル・2ドア)

ゆずってください(買います)

- 電動三輪車●作業用回転いす●自転車用補助いす●電動ミシン●ノートパソコン●ワープロ●車いす(折りたたみ式)●リール●ライティングデスク●野球用グローブ(大人右利き用)●スケート(19センチ)●チャイルドシート●三本糸ロックミシン●水槽(長さ90×奥行60センチ、45×90×30センチ)●チャイルドシート●三輪車(大人用)●CD・ラジオデッキ(音声多重)●鋳物まきストーブ



「議会改革」への強い動きを受け「各常任委員会が積極的な活動を展開」

これまでの経過

登別市議会における議会改革に関しては、分権時代の改革への流れが加速する中、本年五月に検討会議が設置され、より具体的な提案の明示へ協議を重ねた結果「公聴会・参考人制度、フォーラムの開催」など十八項目を取りまとめました。その後、これら項目の確実な実施へ向け、義務化や制度化の方法などを協議する推進委員会を九月に設置し、具体的な実施内容として

- ◎本会議中継設備のリースでの十九年度予算要求
- ◎常任委員会の年度活動への制度組み入れの義務化
- ◎フォーラムについては毎年六月に開催する

などが示されました。今定例会では、定例会回数等を三回に減、議員定数の三人削減が議決され、議会改革が本格的に動き出したことを受け、各常任委員会においても、積極的な活動が開始されています。

総務・教育委員会

「モモンガくらぶ」と意見交換会を実施

総務・教育委員会は九月四日、ネイチャーセンター「ふおれすと鉦山」活動支援組織 NPO法人モモンガくらぶの松原理事長、荒川副理事長、吉本事務局長と活動と現状課題について意見交換会を行いました。



はじめに、二〇〇五年八月「NPO法人」として認可された経緯などについて説明がありました。その中で、松原理事長は「認可された時点での目標は、まず組織的に公にして透明度を高め、市民の皆さんにどう貢献していくか意識した活動をしてきた」「現在会員は百五十四名で質の高い活動が展開されている」さらに「いろいろな人たちとネットワークづくりをしていきたい」と述べ

られた。

各委員からは「登別市や他の団体との連携は」「事業を進めていく上でお金がかかると思うがどうしているのか」「質の高い活動を今後どう維持していくのか」などの発言があり、和やかなうちに意見交換会を終了しました。

感想・子どもから高齢者や障がい者まで安心して参加できることや事業内容もオールシーズンで自然体験活動・クラフト・草木染など幅広く展開し、広く社会教育活動に大きく寄与している。

モモンガくらぶのさらなる事業展開に期待していきたい。

生活・福祉委員会

「通所授産施設を誘致する会」と意見交換会を実施

「登別市に通所授産施設を誘致する会」（吉野良子代表）と生活・福祉委員会との意見交換会が、十月三日午後六時半から市役所本庁舎で開催されました。

委員会からは八名の出席、誘致する会からは十五名の会員に出席をいただきました。

誘致する会は、登別市の七つの障がい者団体で平成十五年に結成され、現在その誘致に向けて市側と協議が進められています。

意見交換会は、「会の授産施設誘致に対する考え方」と「障害者自立支援法施行後の障がい者の状況」が中心テーマでした。

会の代表者から経過や活動内容の説明の後、質疑・意見交換が行われました。



開催時間が夕刻遅くからということ、十分な意見交換ができませんでしたが、障がい者の自立には、数多くの問題や課題が山積しているということだけは、出席した方々の共通の認識となりました。

「通所授産施設」の早期実現と障がい者の幸せを願いながら有意義な意見交換会を終了しました。

一般質問

平成18年第3回定例市議会は、9月14日から29日まで行われ、一般質問は、9月15日から21日までの4日間、教育、福祉、防災、環境行政などについて11人の議員が質問しました。

天神林美彦 議員

【問】 登別市社会教育中期計画（きらり・はつらつ・みちたり・ライフ）における取り組みの最重点をどこに置いているのか。

【答】 社会教育については、五年毎に教育中期計画を策定し、この計画に沿って推進を図っている。

【問】 今回の計画においては、「一人づくり」を重点目標としており、生涯の各時期に求められる学習活動や世代間交流、ボランティア活動への市民の積極的な参加を促すとともに、これらの活動内容のさらなる充実に取り組んでいる。

木村 純一 議員

【問】 新バリアフリー法は、市町村が住民参加型の協議会を設置して基本構想を作成し、バリアフリー化する施設などを提案できるようになった。本市の考えは。

【答】 市の財政状況を踏まえ、基本構想を作成して整備の促進を図ることは困難であり、施行令等の細部が決められた後、検討したい。

【問】 VDT症候群に関わる職員の健康管理について。

【答】 職員の日常業務において、パソコンを使用する頻度が多くなっている。VDTを使用する作業の



▲展示作品

実態に応じて職員の健康管理に努めたい。

VDT (Visual Display Terminal) の略で、表示画面を持った情報端末のこと。症候群とは、VDT作業による健康トラブルの総称で、眼症状、運動器症状、精神神経症状電磁波の影響があるといわれています。

平田江美子 議員

【問】 障害者自立支援法では利用者の一割負担となったが、施設退所や福祉サービスの中断はないか。

【答】 施設退所、通所の中断はない。障がい者が安心して利用でき

る市独自の負担軽減策をおこなうべきでは。

【答】 法による軽減措置をおこなうことにより、軽減が図られるので財政状況からも市独自の軽減策は考えていない。

【問】 介護保険制度における軽度者の福祉用具貸与について。

【答】 車椅子利用で歩行困難、起き上がりが困難と認められる重度者に限る。

高橋 正美 議員

【問】 二〇〇七年四月、登別市に開校予定の明日中等教育学校では、放課後等のセミナーの実施や大手予備校の講義の導入を検討しているようだが、「エリート校」化することはないのか。

【答】 国会で、受験準備に偏ったいわゆる「受験エリート校」化など偏差値による学校間格差を助長することや受験競争の低年齢化を招くことのないよう政府及び関係者は特段の配慮をすべき、との決議がなされている。

道教委でも、教育課程の編成や入学者の選考について、十分検討されているものと理解している。

山田 新一 議員

【問】 地域職員ネットワークの目的

とまちづくりとの関わりを示せ。

【答】 職員が地域のイベントや様々な行事に参加することで、地域の人たちと職員が今まで以上に、互いに交流しながら、信頼を深めつつ、一緒に地域問題解決を考えたことが大切と考える。これが協働のまちづくりを進める潤滑油になるとともに、地域の問題提起や、苦情の把握にもつながる。九つの連合町内会単位で、二名から三名の配置を考えている。



▲明日中等教育学校

石山 正志 議員

【問】 「障害程度区分」判定が、身体介護に高く、知的・精神障害が

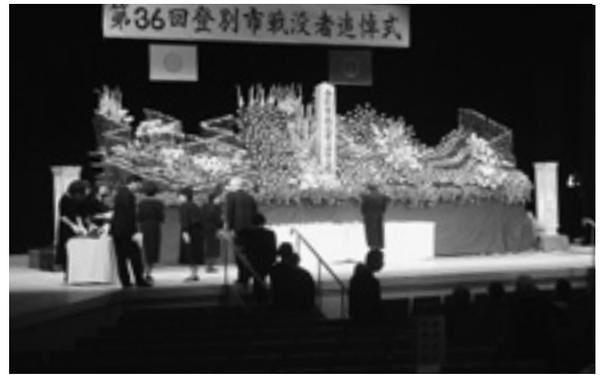
比較的低く区分判定されるとの懸念にどういふ認識を持つか。また区分判定に障害者側の「特記事項」がどの程度反映されるか。

答 一次判定の調査内容に知的障害や精神障害に係る社会性等の問題で認定が低くなる傾向がある。

このため、認定調査員の特記事項や医師の意見書で、二次判定が適正に行えるよう努めている。これまでの審査修了者のうち、二五名が二次判定で上位の区分へ変更し認定している。今後も区分認定の適正を期していきたい。

西村 孝夫 議員

問 戦没者追悼式は、年々参加者が減少し、参加者の高齢化も進んでいる。先の大戦の戦没者を慰霊し、平和への誓いを新たにすると、戦没者追悼式の意義にふさわしい方なのだろうかという思いが湧いてくる。今後、より多くの方の参列と、次の世代への継承と、平和都市宣言のまちにふさわしい平和への意識高揚のための式典であるべきと考えるがいかが。 **答** 今後は、ご遺族をはじめ多くの市民が参加し、世界平和を考えることができる催しとなるよう来年から見直す。



▲戦没者追悼式

山口 賢治 議員

今回は、昨年十二月に制定された、まちづくり基本条例について質問をしました。その条項の中には、自治推進委員会の設置が規定されています。市民と行政が協力し、協働のまちづくりを推進するためには、担当所管部局の職員は自治推進委員会の各部会に入るべきと、考えています。そこで、市職員は、どのような立場で自治推進委員会にかかわり合うのかを、聞きました。総務部長は、担当所管部局が、情報提供を求められた場合に、行政として、対等でフラットな立場として参画し、話し合いをするかと答えました。

花井 泰子 議員

問 公営住宅のガス器具などのリース代が他市より高いと考える、軽減策はないのか。

答 登別ガス協同組合には、できる限り安価な料金となるようにお願いをしている。

問 ガソリンなどの高騰でも市も影響をうけている。廃てんぷら油を利用して、ディーゼルエンジンに使用できる安い燃料ができることを知った。市も研究し、経費節減に活かすべきではないか。

答 廃植物油を活用したシステムで、SVOハイブリットシステムがある。先進地を参考にしながら研究・検討し、方向性を見い出す。

上村 幸雄 議員

問 市職員が飲酒運転に絡んだ違反をおこした場合は、すべて免職とすべきではないか。

答 因みに平成十年度以降、飲酒運転による処分者は三名おり、処分内容は減給から停職三ヶ月であった。

今後は各都市の基準などを検討して懲戒処分の内容に加えて、運転者に飲酒を勧めた場合や飲酒運転の車に同乗した職員も処分の対象とすることを視野に入れて、平

成十五年に改正した基準をあらためて、見直しすることにする。

松山 哲男 議員

地域活性化策として、札内大地の利活用を考えると、札内大地そのものや三百万人余の観光入込み客をはじめ、市内の様々な要素を地元資源として捉え、それらの結合による付加価値化とその利活用がポイントになる。自然・安全志向等への様々な視点で道内外客対象の農園を創る事は、地域活性化に結びつく。温泉宿泊や滞在型観光への魅力創出、雇用創出、起業化などに繋がり、少額の投資で大きな波及・相乗効果の期待が持てる交流農園構想を如何に考えるか。



▲市民農園

平成18年第3回定例会議決結果
会期：平成18年9月14日～9月29日

(議案)

- ・登別市議会議員定数条例の一部改正
- ・登別市議会定例会の回数に関する条例の一部改正
- ・平成18年度登別市一般会計補正予算（第3号）
- ・平成18年度登別市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・平成18年度登別市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- ・西いぶり広域連合への加入
- ・登別市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定
- ・消防組織法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定
- ・登別市障害者地域自立支援協議会の委員の定数等を定める条例の制定
- ・登別市障害者地域活動支援センター事業条例の制定
- ・登別市立学校設置条例の一部改正
- ・登別市情報公開条例の一部改正
- ・登別市個人情報保護条例の一部改正
- ・登別市手数料条例の一部改正
- ・登別市ネイチャーセンター条例の一部改正
- ・登別市国民健康保険条例の一部改正
- ・登別市老人医療費助成条例等の一部改正
- ・登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例の一部改正
- ・登別市放課後児童クラブ条例の一部改正
- ・市道路線の認定
- ・市道路線の変更
- ・工事請負契約
- ・登別市教育委員会委員の任命
- ・登別市議会議員の派遣

(報告)

- ・平成17年度登別市一般会計継続費精算書の報告
- ・平成17年度登別市公共下水道事業特別会計継続費精算書の報告

(意見書)

- ・道路整備に関する意見書
- ・ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書
- ・自治体財政の充実のため地方交付税の総額確保を求める意見書
- ・学校病にアトピー性皮膚炎や喘息などアレルギー疾患の指定を求める意見書

(継続審査)

- ・平成17年度登別市一般会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ・平成17年度登別市水道事業会計決算の認定

**補正予算審査
特別委員会**

一般会計補正予算の主な質疑は
●地域生活支援事業における利用者負担について

●登別温泉公民館整備事業で新設される児童室の位置づけについて
●児童室完成後の課題として残る児童館未設置地区について

●児童室の児童館的な運営における人員配置のあり方及び責任の所在について

との質疑のあと原案のとおり可決されました。

特別会計補正予算は特に質疑なく、全会一致で原案可決しました。

第四回臨時会

第四回臨時会が八月二十八日開催され、カルルス温泉スキー場に関する特別委員会を設置し、二十九日午前十時から議案四件について審議しました。

●登別市特別会計条例の一部改正についての主な質疑は

●特別会計にした理由について

●スキー場運営に市民の税金がどのぐらい使われているかを明確にするため。

●スキー場事業継続の判断の考え方について。

●スキー場事業は当市にとって

冬季観光の重要な戦略であり、カルルス地区の活性化を考慮し継続を判断した。

●大規模補修と小破修繕の考え方について。

●大規模補修は市が直接発注し小破修繕については加森グループと話し合いの中で市が介入し確認したうえで行う。

●「カルルス温泉スキー場の運営に当たっては経営診断等を行い、二年をめどに存廃の結論を出すべきである」との附帯決議を付して全会一致で原案のとおり可決しました。

●平成十八年度登別市カルルス温泉スキー場事業特別会計予算について

●平成十八年度登別市一般会計補正予算について及び登別市カルルス温泉スキー場施設等整備基金条例の廃止については特に質疑なく原案のとおり可決しました。

●スキー場損害賠償責任保険金受入金の中身について。

●スキー場等で事故があった場合、損害賠償を求められたときのため、あらかじめ保険に加入する見込みである保険会社からの受入金を出し、歳出でも同額を補償費として計上し受入科目と予算支出科目を確保しておくことである。

●平成十八年度登別市一般会計補正予算について及び登別市カルルス温泉スキー場施設等整備基金条例の廃止については特に質疑なく原案のとおり可決しました。



編集後記

議会情報発信の要である、でいすかす。

発行までのスケジュールや編集内容の検討、原稿収集や誤字、脱字、内容の精査、写真撮影、校正と時間と労力がかかる割には苦勞が見えない。読んでもらえることに期待。

(成田)

交通安全に 取り組みましょう



市内の死亡交通事故は、昨年の8月3日に発生したのを最後に357日間、ゼロ記録を継続していましたが、今年7月27日、8月24日、9月27日と3カ月連続で発生しました。

市は、登別市交通安全協会や室蘭警察署と連携し、各関係機関に呼び掛け、10月13日に緊急交通安全対策会議を開催。この状況に歯止めをかけるために、交通安全啓発リーフレットの作成や『STOP! 死亡事故 人と旗の波街頭啓発運動』などを行うこととしました。

悲惨な死亡事故がこれ以上起きないように、スピードダウンとシートベルト着用を心掛け、一人ひとりが交通安全に取り組みましょう。

問い合わせ
市民サービスグループ
(☎⁰⁵1855)

悪質商法にご用心



近ごろ、高齢者の方から、悪質商法の被害（布団、健康食品など）を受けたとの相談が市に多く寄せられています。

親切なふりをして、言葉巧みに高齢者に近づいたり、威圧的な態度で訪問していつまでも帰らなかったり、悪質業者は、いろいろな手口で消費者を狙っています。

被害に遭ったと自覚している方でも、誰にも相談できずに次々と契約させられ、被害額が増えてしまうこともあります。

周囲の方の見守りが、高齢者の悪質商法からの被害を防ぎます。

不安を感じたら、早めに相談しましょう。

問い合わせ
消費生活相談窓口 (☎⁰⁵3491)
登別消費者協会 (☎⁰⁵8307)

と な り ま ち ・ ホ ッ ト ラ ン

白老町

青森県つがる市特産品即売会に お越しく下さい

白老町と姉妹都市提携をしている青森県つがる市の特産品を格安販売します。ぜひ、この機会にお買い求めください。

- ▶日時 12月3日(日) 10時～15時
- ▶場所 白老コミュニティーセンター (白老町本町1丁目)
- ▶販売品目 りんご(サンふじ)、りんごジュース、にんにく、牛蒡麵ほか
- ※販売品目は変更になる場合があります。売り切れする場合があります。
- ▶問い合わせ 白老町産業経済課 (☎0144②6491)

室蘭市

冬の遊び場 スケートリンク

室蘭市中島スポーツセンターのスケートリンクが11月1日オープンします。

- ▶開館時間 平日…12時～18時、土・日曜日、祝日…10時～18時
- ▶休館日 月曜日
- ※月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館日です。
- ▶料金 一般400円、65歳以上300円、高校生200円、小・中学生100円(回数券もあります)
- ※未就学児童は無料です。
- ▶問い合わせ 室蘭市中島スポーツセンター (☎⁰⁵0800)

伊達市

陸上自衛隊第7音楽隊 ファミリーコンサートを開催します

子どもから年配の方まで楽しめる、今年の流行歌も交えた吹奏楽です。

- ▶日時 11月25日(土) 開場18時30分、開演19時
- ▶場所 だて歴史の杜カルチャーセンター大ホール
- ▶入場料 無料(入場整理券が必要になります)
- ▶入場整理券配布所 伊達商工会議所、伊達市総務課、カルチャーセンター、伊達信用金庫伊達市内各店ほか
- ▶問い合わせ 伊達市自衛隊協会の (☎0142③2222)



人のうごき(平成18年9月末日現在) / 人口53,782 (-89) 世帯24,736 (-40) () は前月比 この広報紙は再生紙を使用しています。

発行・編集/登別市総務部情報推進グループ 〒059-0012 北海道登別市中央町6-11 ☎0143⑥6586 ⑩0143⑥1108
ホームページ: <http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp> Eメール: pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp